

2024年3月期
第3四半期決算説明会

ダイジェスト版

アステリア株式会社

(東証プライム:3853)

2024年2月9日



会社概要

アステリアグループ

アステリア グループ

◆本社事業

✓ **企業向けソフトウェア製品の
開発・販売**

◆子会社事業

✓ **デザイン戦略コンサル(英国)**
✓ **企業投資(米国)**

◆市場

◆設立

◆資本金

◆従業員数

◆拠点

東証プライム(3853)

1998年9月

22億7,534万円

151名(連結)

**5ヶ国(日本、アメリカ、イギリス、
シンガポール、中国)** (2023年12月31日現在)

<ソフトウェア業界で、ブロックチェーン、ノーコード、ウェルビーイングなどを牽引>

2016年に発起企業として業界団体を発足



ブロックチェーン推進協会

2022年に発起企業として業界団体を発足

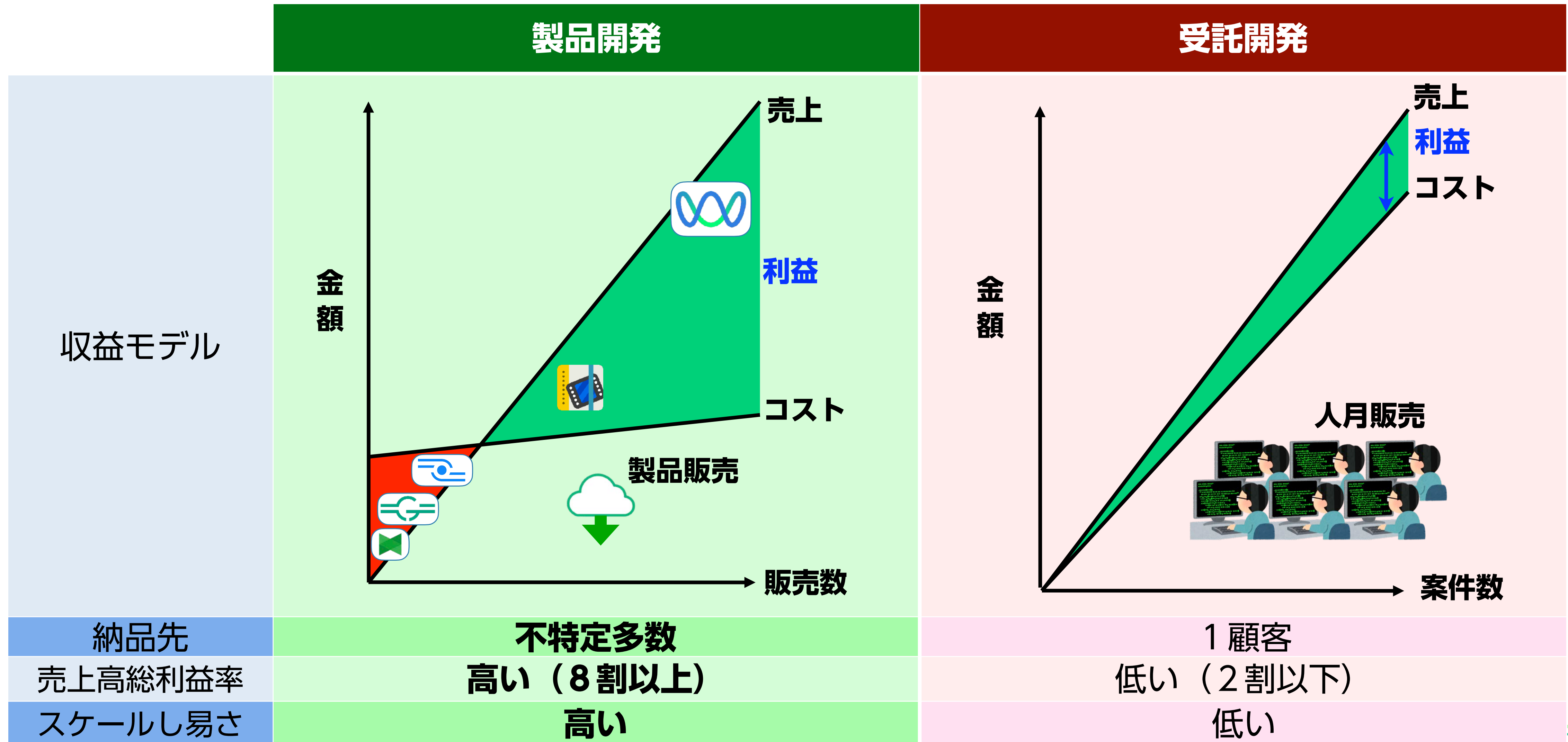


ノーコード推進協会

2023年にCWO (Chief Well-being Officer) を新設



製品開発（ソフトウェアメーカー）と受託開発の違い



当社のソフトウェア事業モデル

「つなぐ」&「ノーコード」



Asteria[◇]

<開発センター>

- ・東京
- ・熊本
- ・シンガポール
- ・中国(杭州)

製品開発

ソフトウェア

サポート

対価

ソフトウェア

対価

販売・構築
パートナー
企業

直販

Platio, Gravio等

システム構築
ソフトウェア
保守

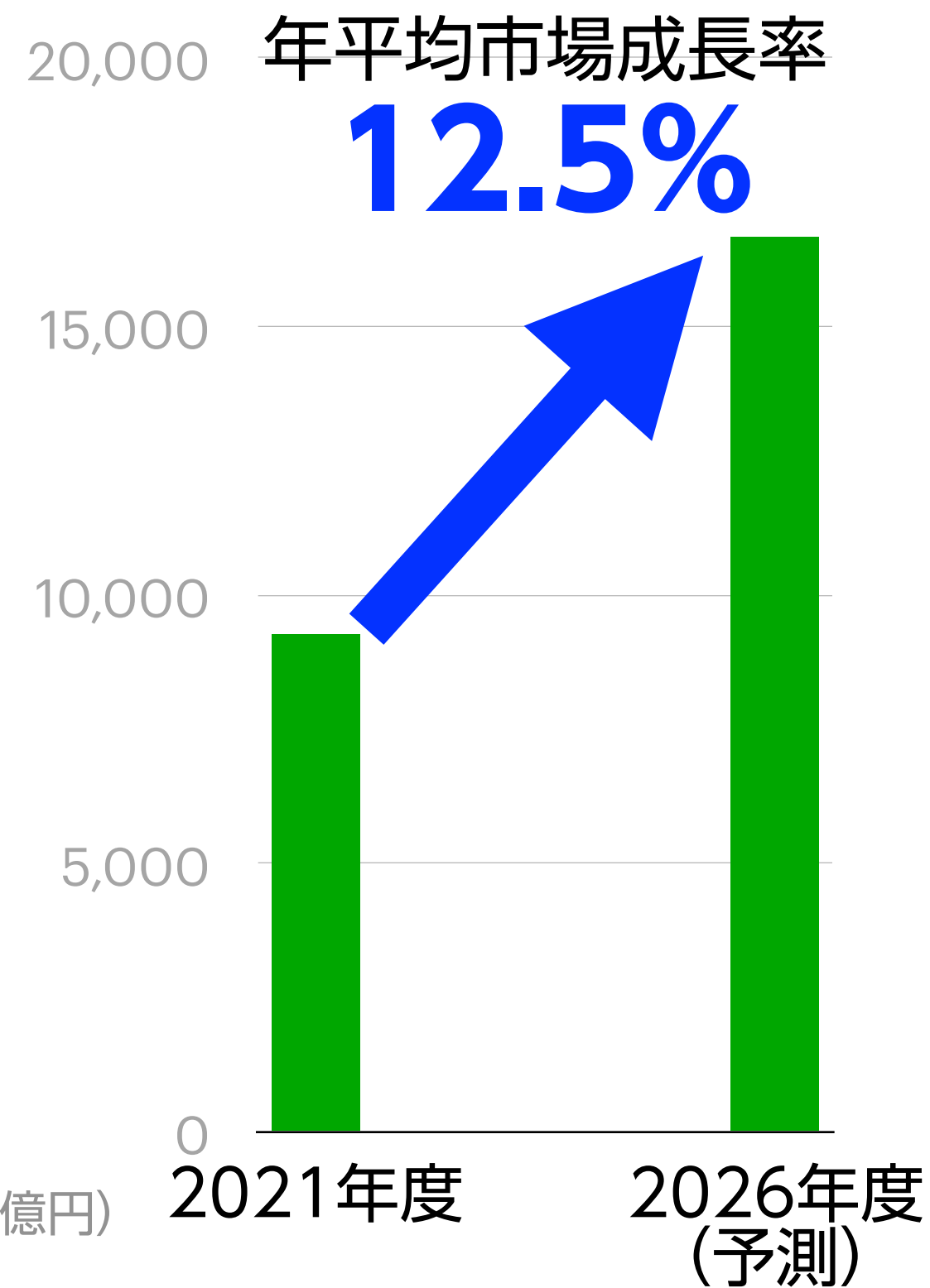
対価

エンド
ユーザー
企業
(計1万社以上)

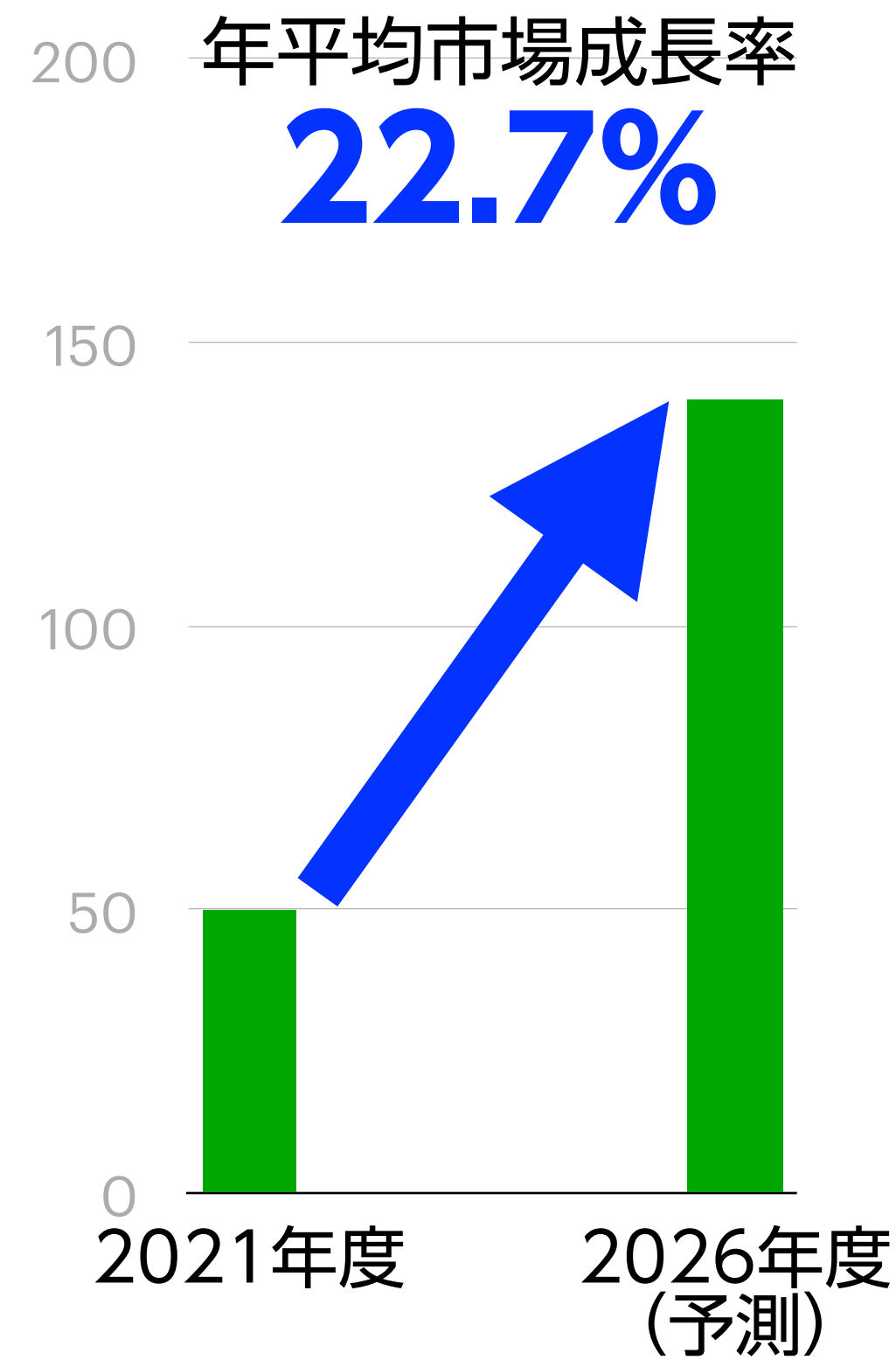
ソフトウェア

注力領域は技術優位性が生きる成長市場

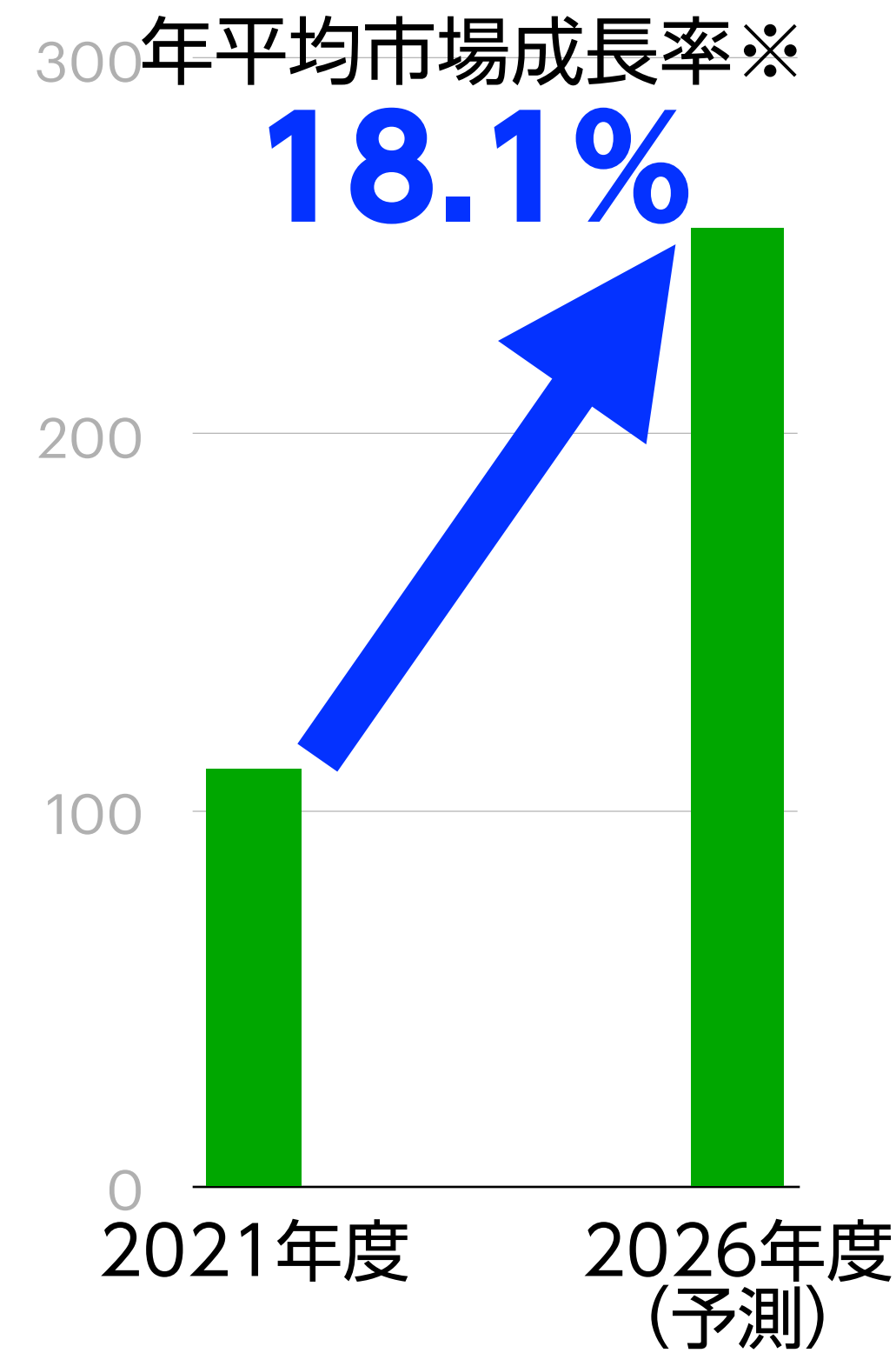
SaaS



iPaaS



ノーコード



AI

製品で技術活用



(AI専業子会社)
**Asteria
ART**
2019年設立

出典：株式会社富士キメラ総研「ソフトウェアビジネス新市場 2022年版」

※ 「ウェブDB/ノーコードは開発ツール」の市場規模を使用



さまざまなデータを自動で連携するシステムを構築

- 様々なデータ形式や通信点順を各システムに合わせて変換
- 転記や変換の手入力も不要になり業務プロセスを自動化
- EAI, MDM, ETL, EDIなど様々なデータ連携用途に実績

ノーコードでのシステム連携が業務改革に貢献

◆ 誰でも簡単に自社の業務に合ったモバイルアプリの作成・活用が可能

- ✓ iOS, Android対応
- ✓ 作成したアプリはすぐに配信して現場で利用可能
- ✓ 配信したアプリは何回でも修正・更新が可能



出典: デロイト トーマツ ミック経済研究所ミックITレポート2023年2月号「B2Bノーコードモバイルアプリ作成ツール市場」

ノーコード
アプリ作成画面



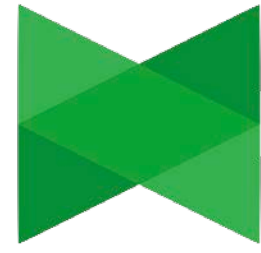
ノーコードでアプリを作成

さまざまな業種業態の現場に適応できる100種以上のテンプレート



ソフトウェア

デジタルコンテンツプラットフォーム「Handbook X」 ノード統合プラットフォーム「Gravio」



Handbook X

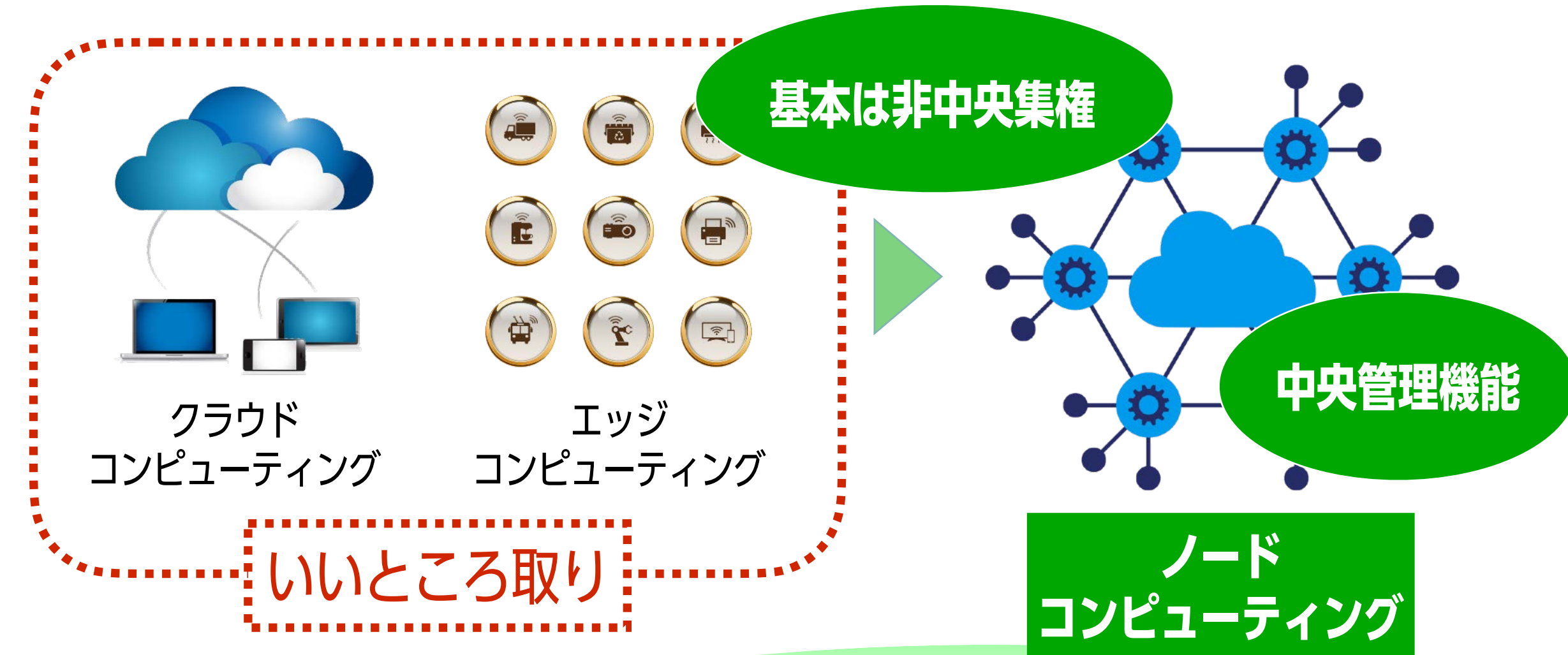


Gravio

PDFから動画、YouTube、画像も
ワンストップでアプリへの
登録・閲覧・共有が可能



センサーからクラウドまで
あらゆる現場で収集されたデータを
統合的に連携 & 管理



決算概要

2024年3月期 第3四半期決算
(国際会計基準 = IFRS)

2024年3月期 第3四半期決算概要

ソフトウェア セグメント

◆第3四半期として初の売上30億円突破

- 売上収益**22%増**、売上総利益**23%増**
- Warp サブスクリプション **38%増収**
- Platio **58%増収**
- デザイン事業 **113%増収**

サブスク製品
好調

投資 セグメント

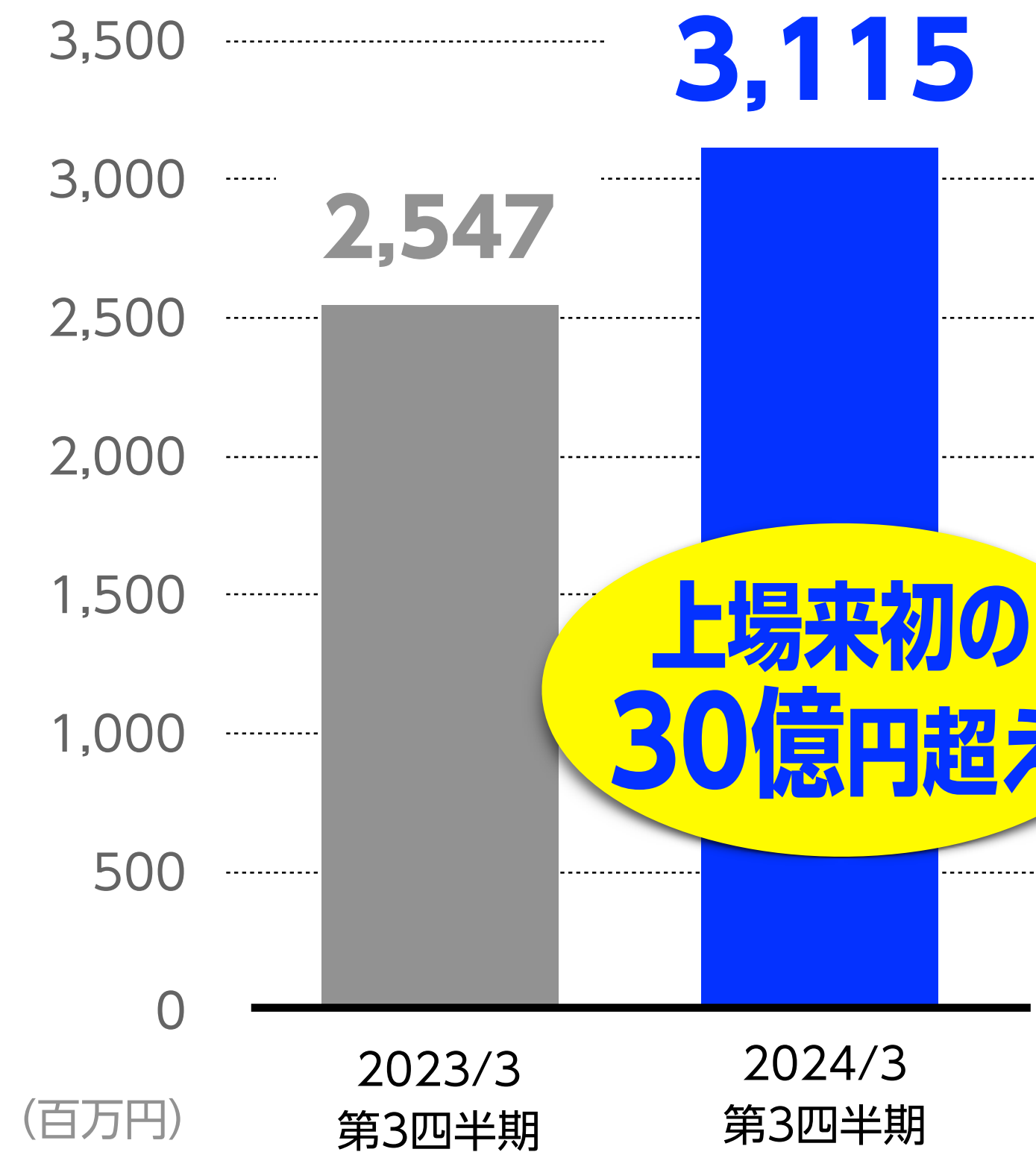
◆Gorilla社 株価大幅下落→**大幅減益**

(2024.1.5 開示済み)

売上収益と売上総利益 (前年同期比)

売上収益

22%増



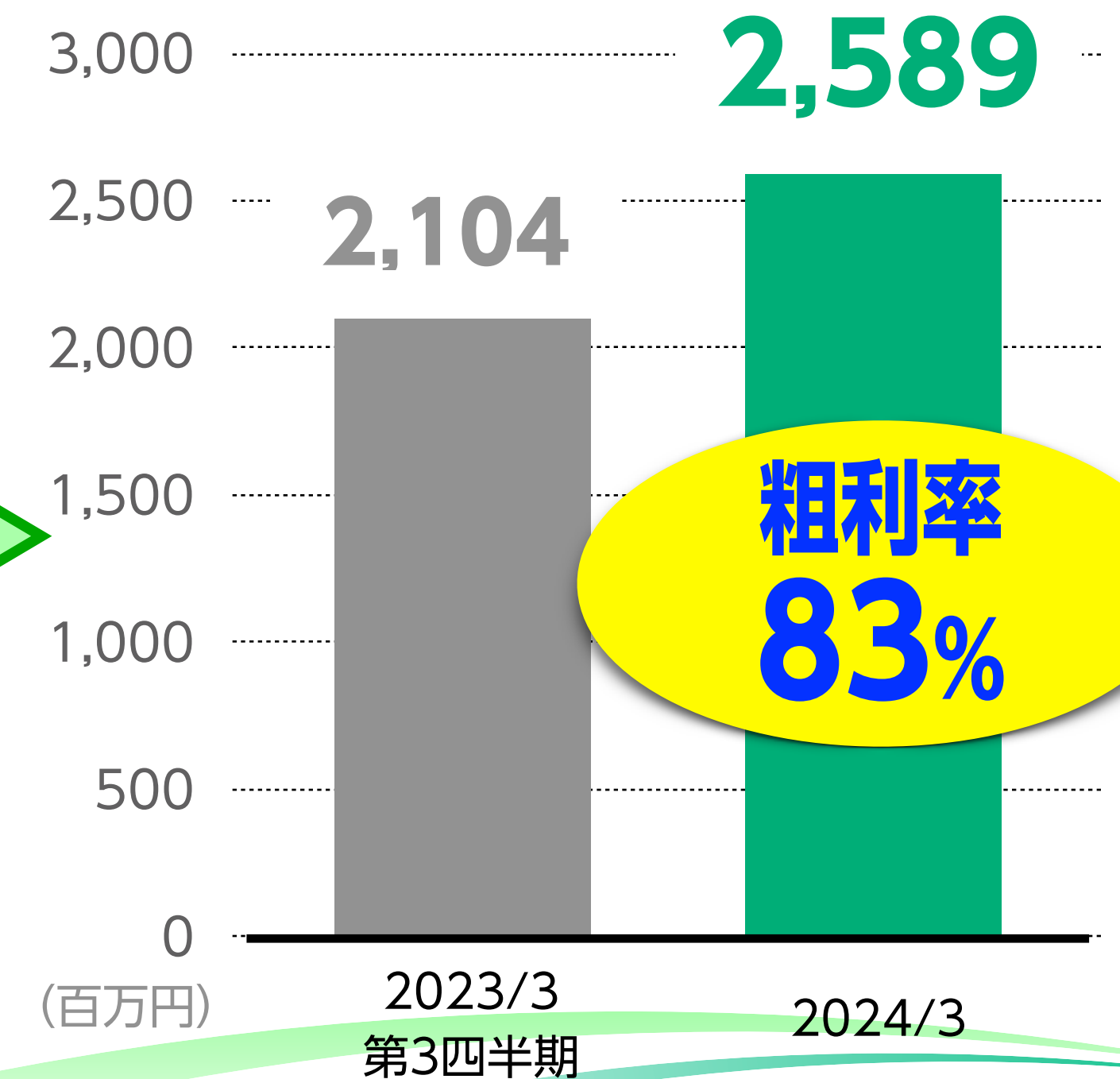
上場来初の
30億円超え

✓ 投資事業には売上収益が無い
ため、売上収益は、ソフトウェア事業とデザイン事業で構成される。

✓ ソフトウェア事業とデザイン事業いずれも物品の仕入れが無い
ため、売上総利益率が極めて高い。

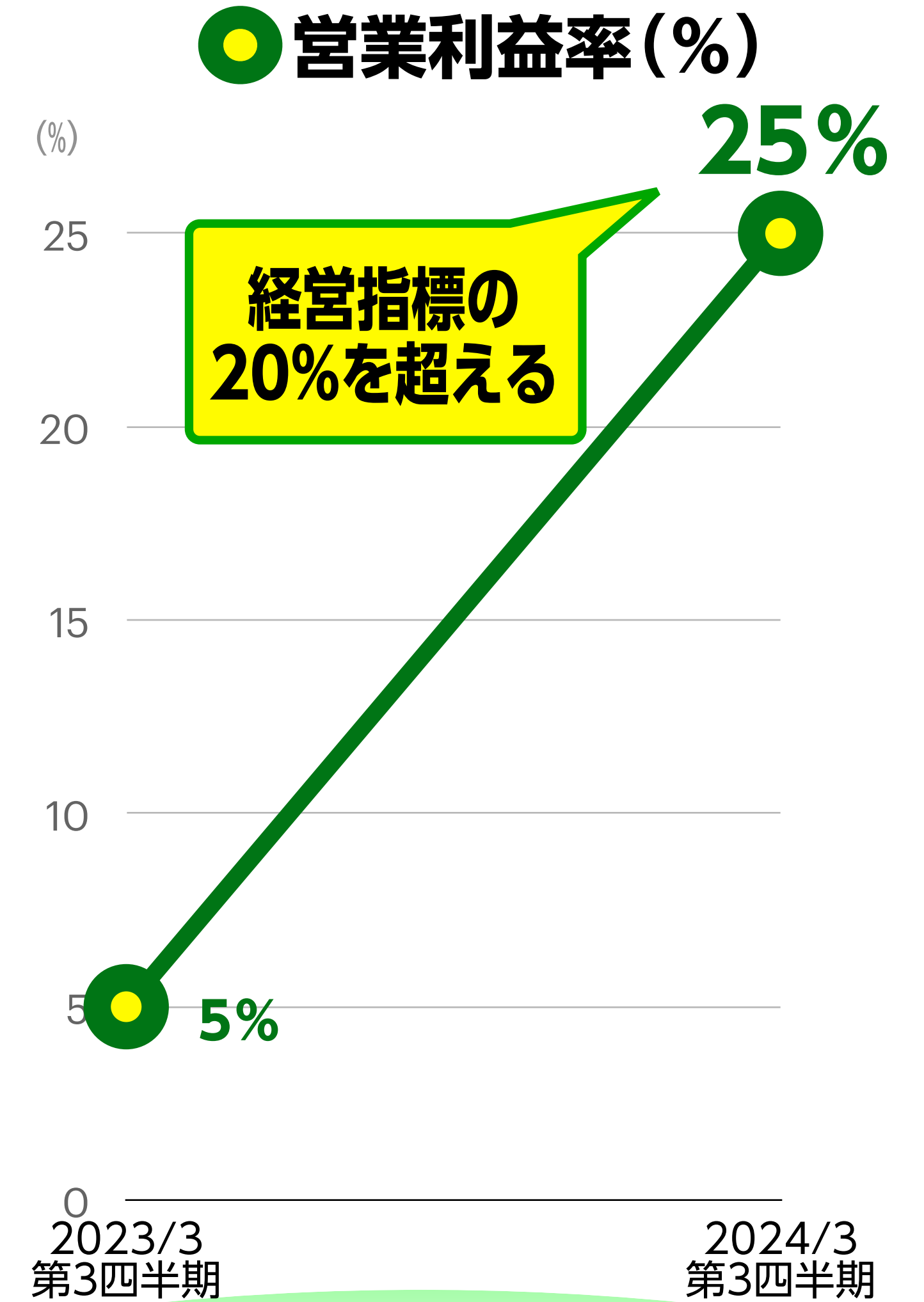
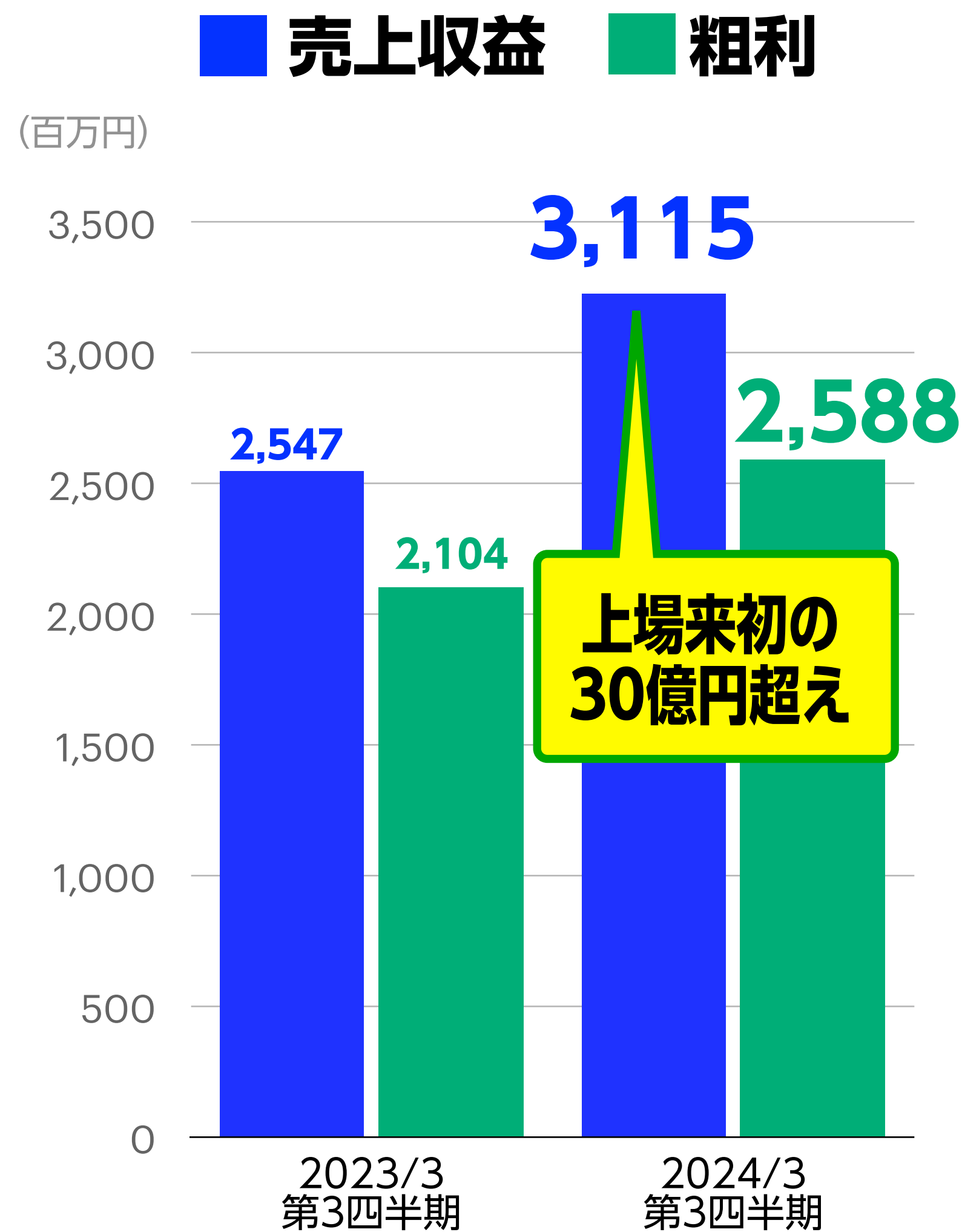
売上総利益 (粗利)

23%増



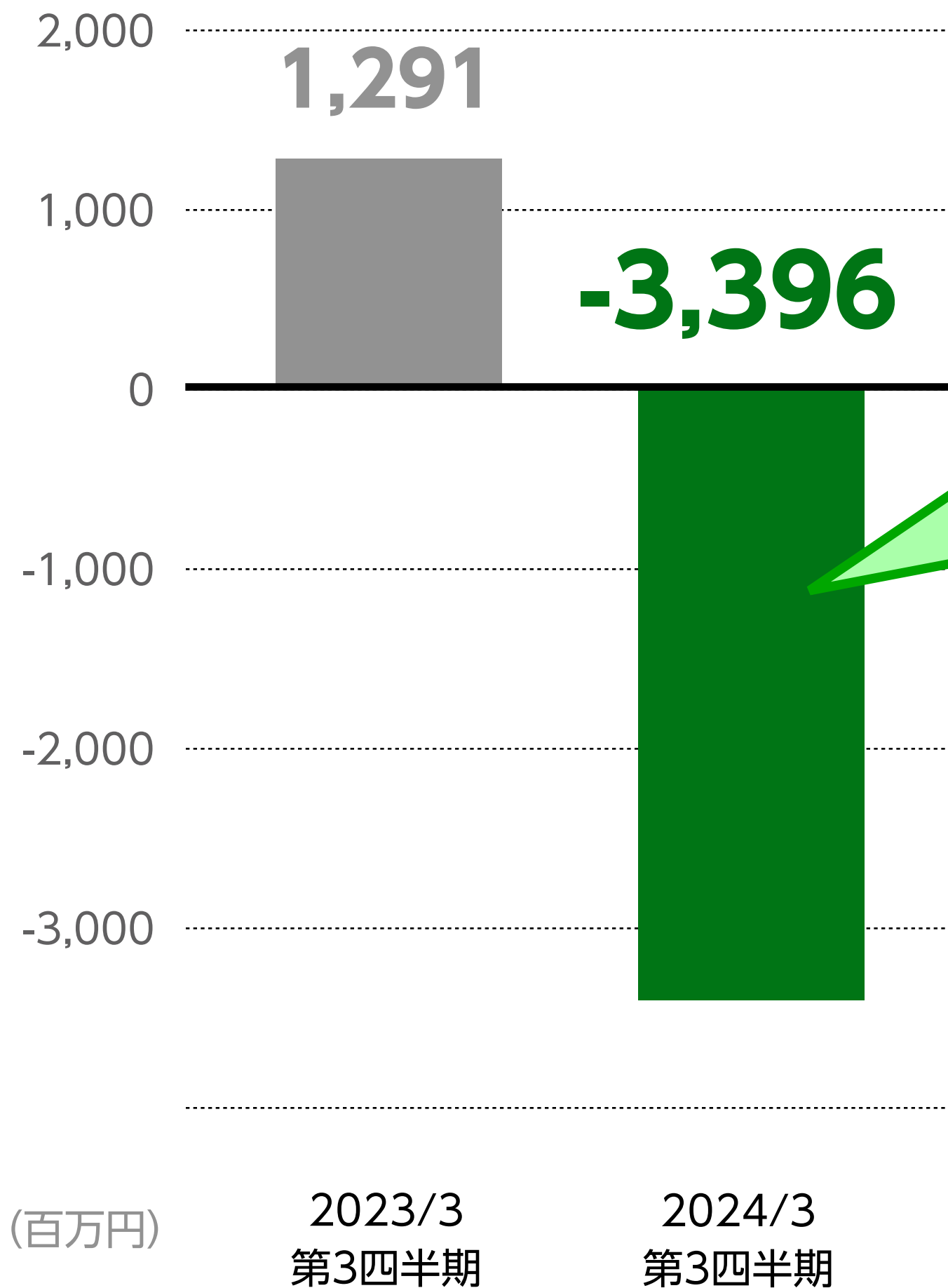
粗利率
83%

ソフトウェアセグメントの収益推移



営業利益と四半期利益 (前年同期比)

営業利益



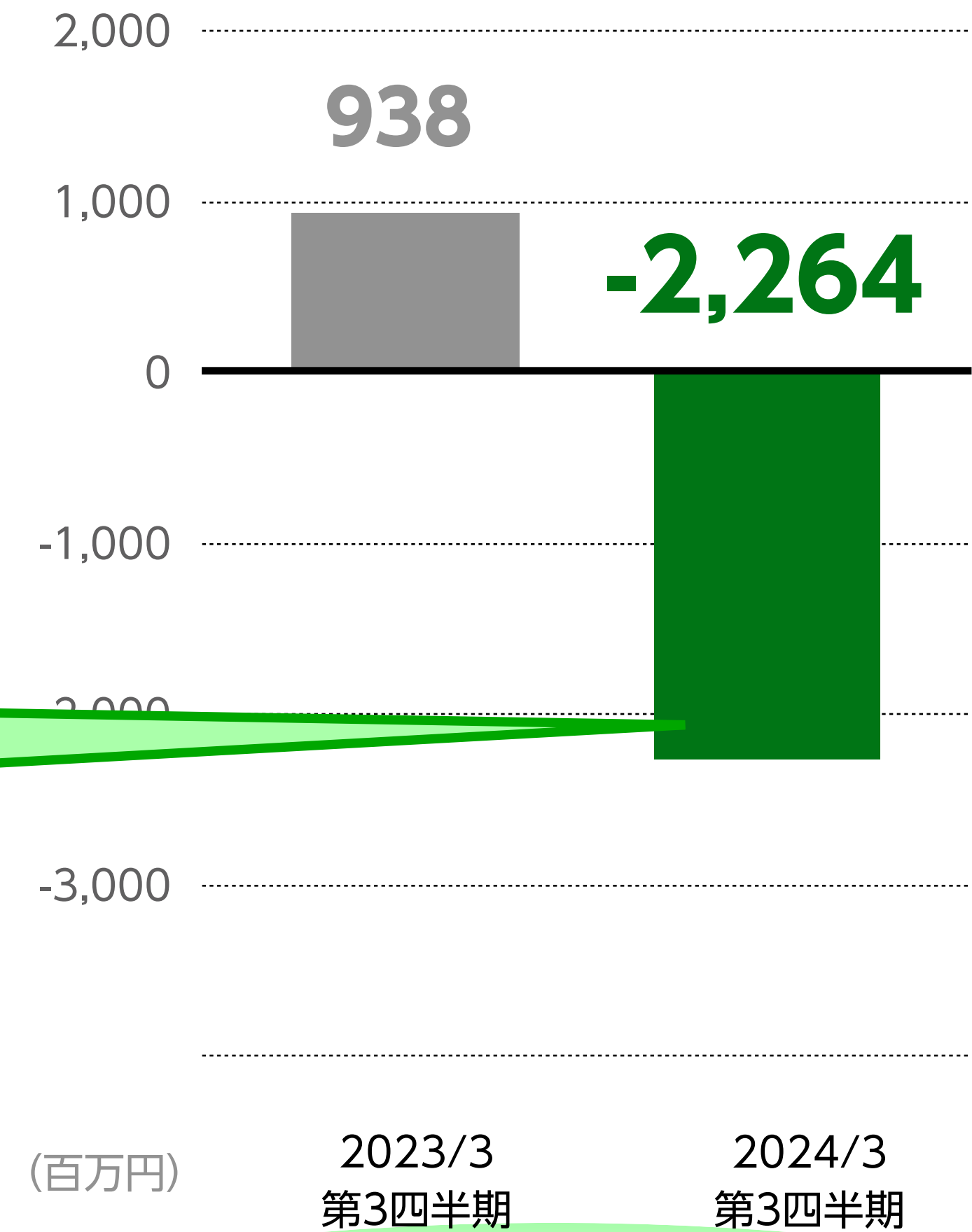
✓ Gorilla社※1の株価下落を主因に第3四半期累積では約41億円の未実現評価損失を計上。※2

(2024.1.5 開示済み)

※1 Gorilla Technology Group社
 ※2 子会社AVF(米国)をIFRSのFVTPLで連結

✓ 円安による1.3億円の金融為替差益を含む。

親会社の株主に帰属する 四半期利益

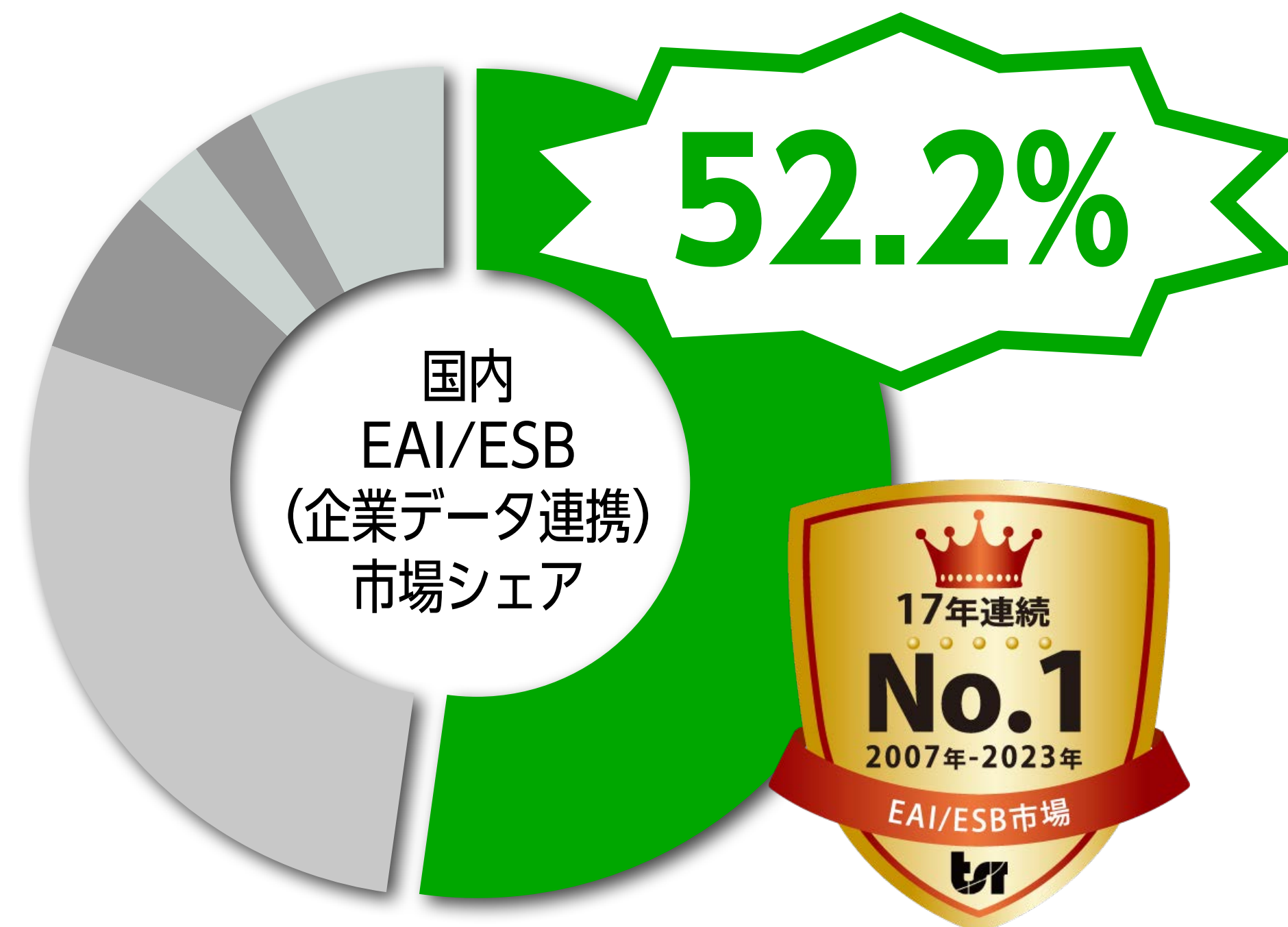


◆ サブスク売上が前年同期比 約4割増

- ✓ 中小企業 (SMB市場) でのデータ連携ニーズが加速
↳ SMB市場に強いISVパートナーとの連携強化
- ✓ 大企業もサブスクへ移行の傾向
- ✓ ノーコード・ローコードアプリ、会計システム
人事労務システムとの連携ニーズが増加



圧倒的なシェア データ連携市場を牽引



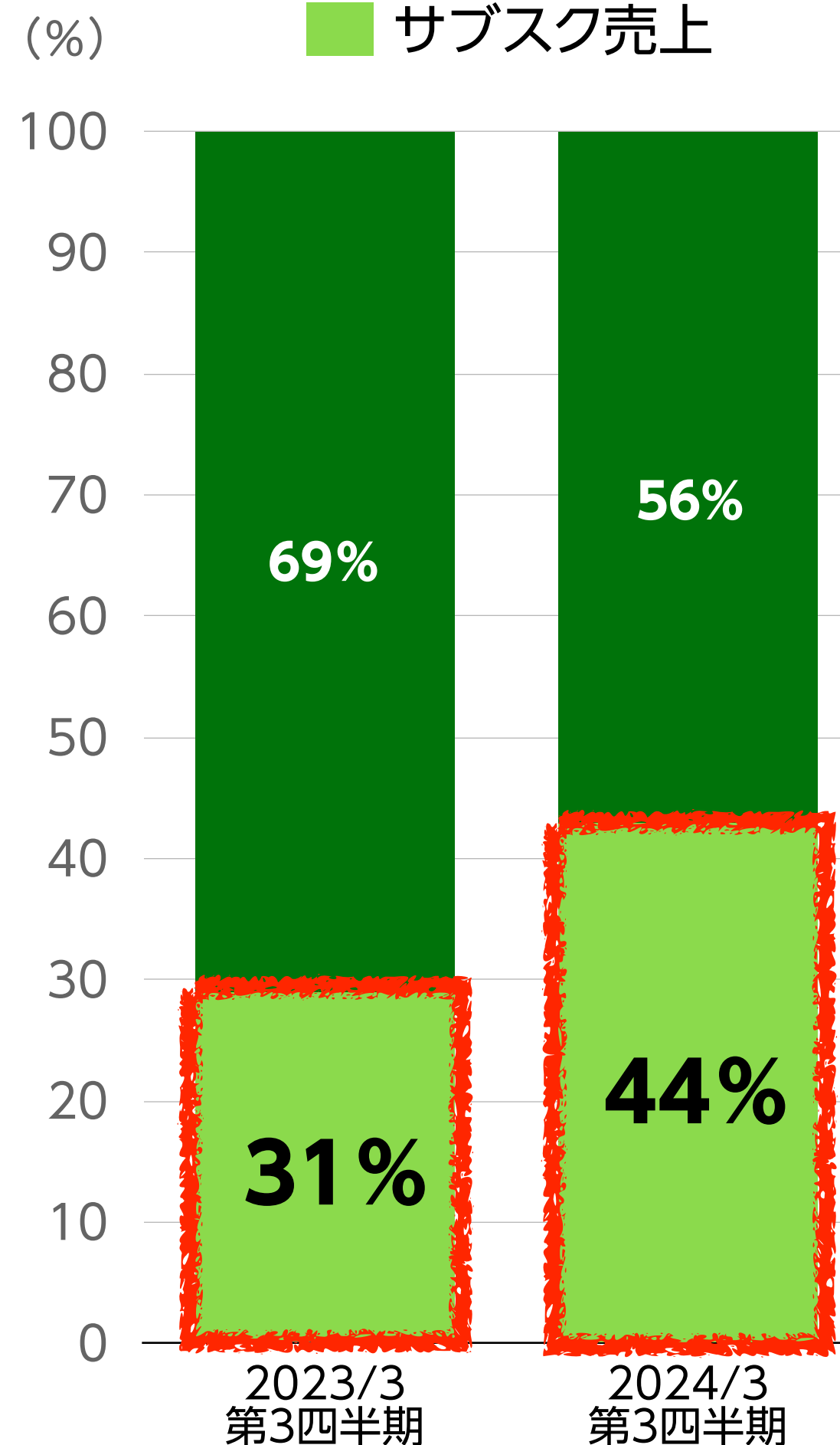
出典：テクノ・システム・リサーチ
「2023年 ソフトウェアマーケティング総覧 EAI/ESB市場編」

◆ 売上が前年同期比 約4割増

- ✓ 製品売上の**44%**がサブスクに
- ✓ **安価・低コスト**で利用開始が可能
(Core:月額3万円~)
- ✓ サブスク増加は、短期的に売上減も
中長期的には**確実な売上増**に

製品売上比率

■ ライセンス売上
■ サブスク売上



Warpのサブスク製品 “Warp Core” MRR※推移



※MRR = Monthly Recurring Revenue (月次継続売上)

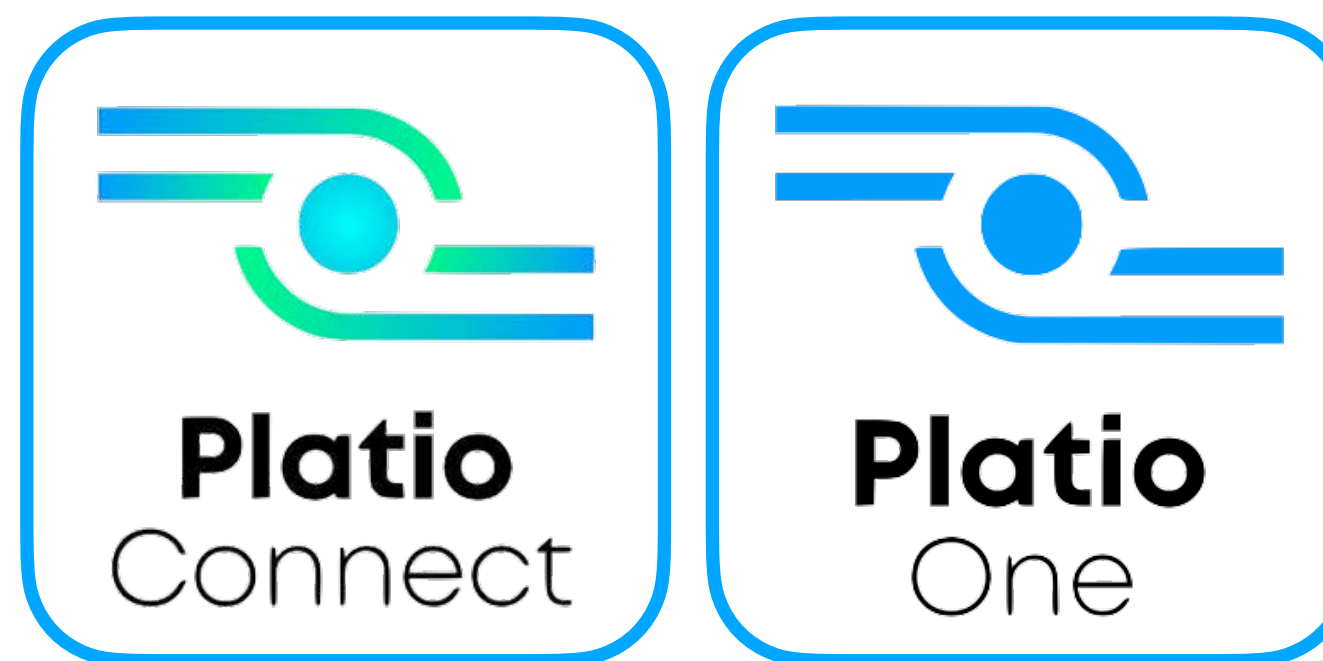
※ARR = Annual Recurring Revenue (年次継続売上)

※2023/4~12の平均成長率(4%)が1年間継続した場合



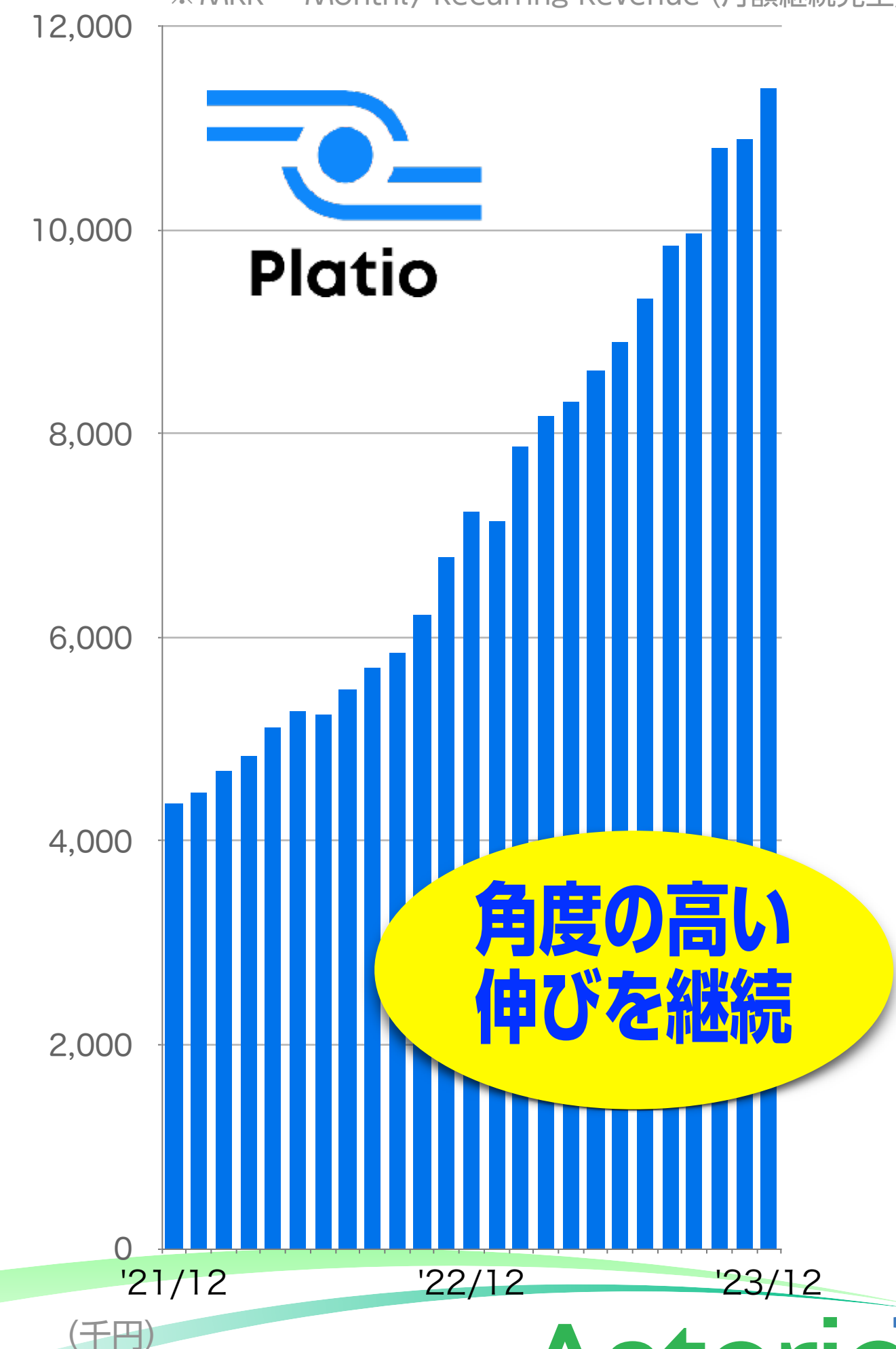
◆ 大幅なMRRの伸びが継続

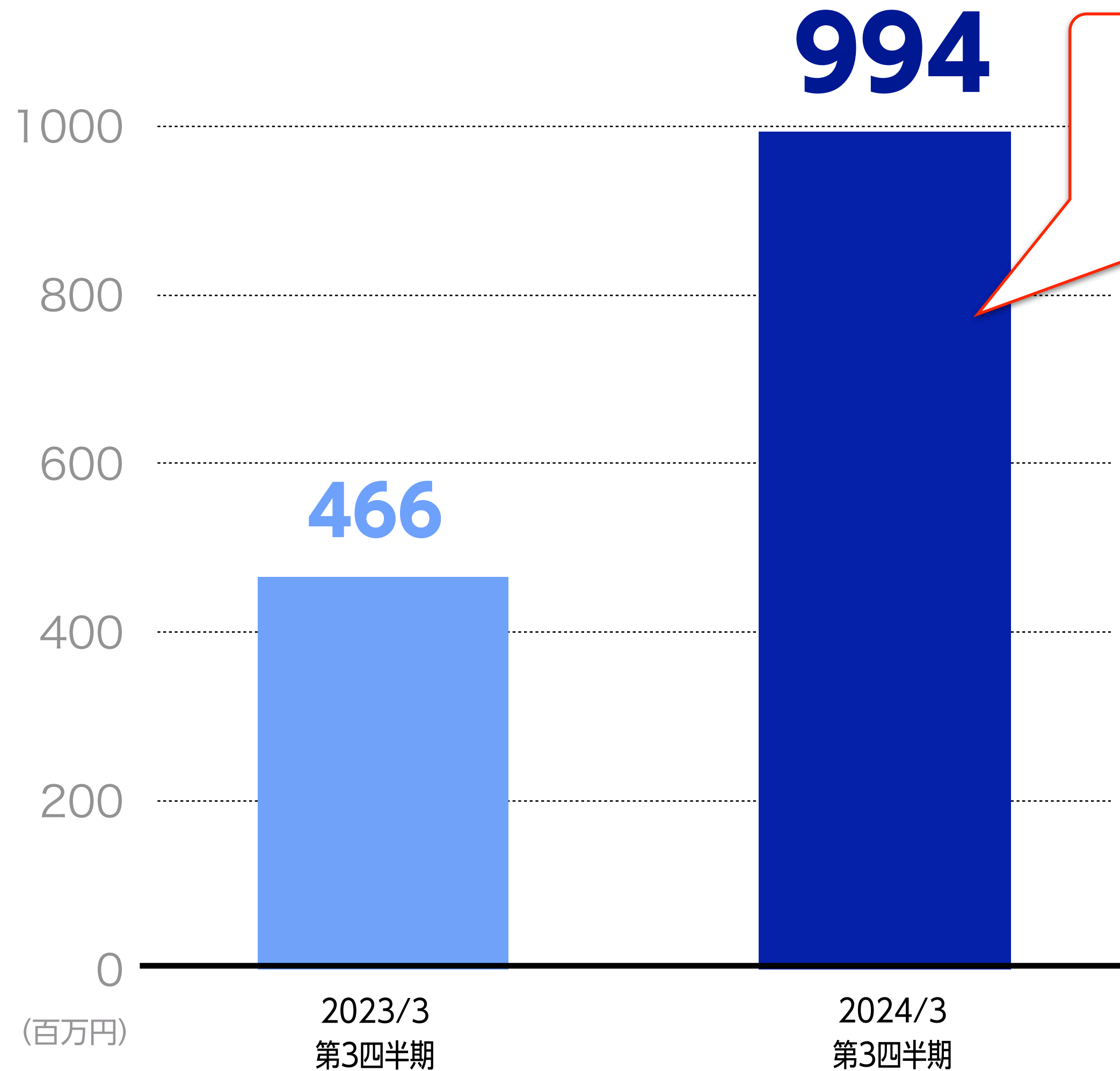
- ✓ 現場業務のデジタル化ニーズが拡大し約6割の増収
- ✓ 2024年問題対策に向け物流・建設業界での導入拡大
- ✓ DX推進におけるデータ活用が加速し **Platio Connect** の引き合いが増加
- ✓ Platioラインアップ拡充により ARPUも向上



MRR※の推移 (直近24ヶ月)

※MRR = Monthly Recurring Revenue (月額継続売上)





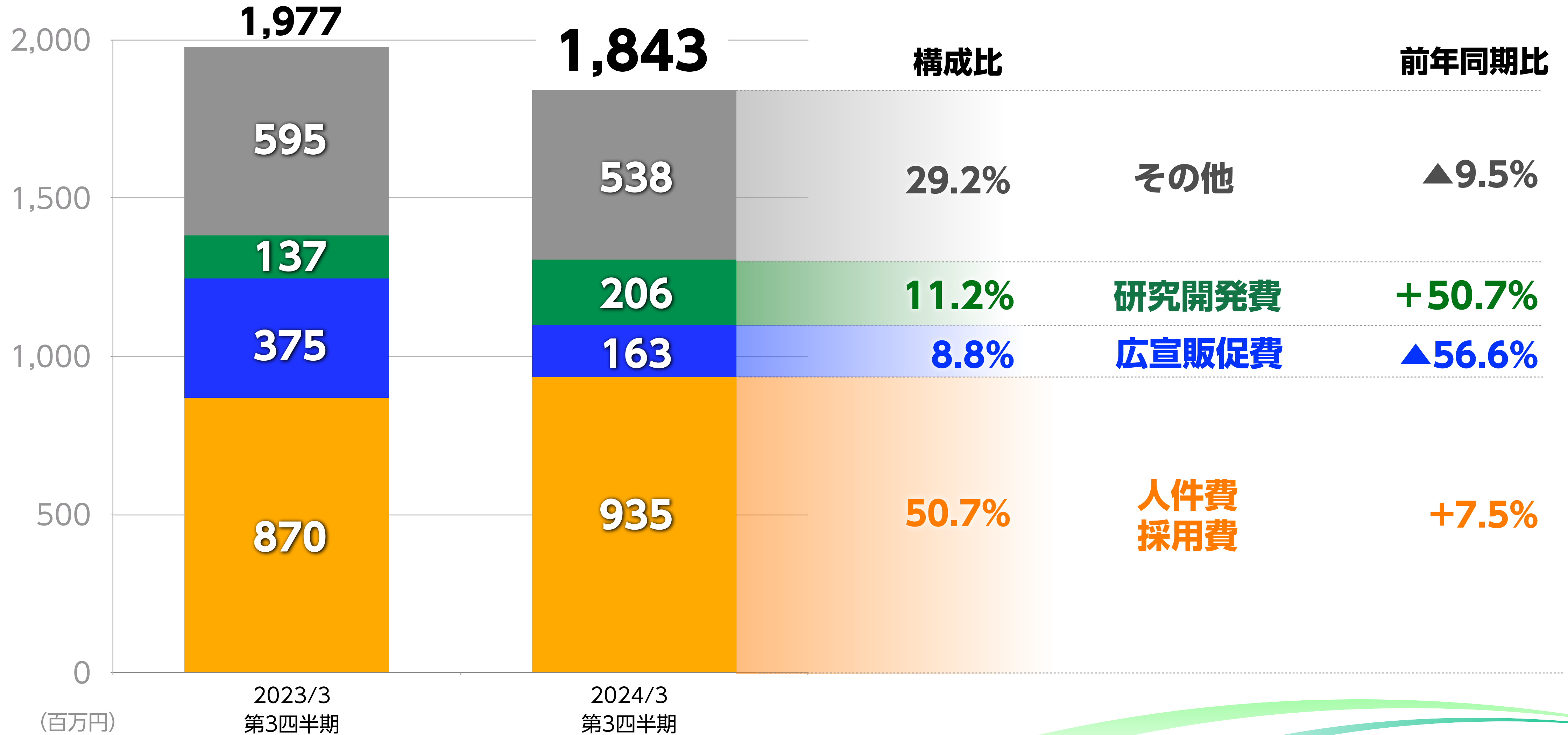
デザイン 前年同期比

113%増

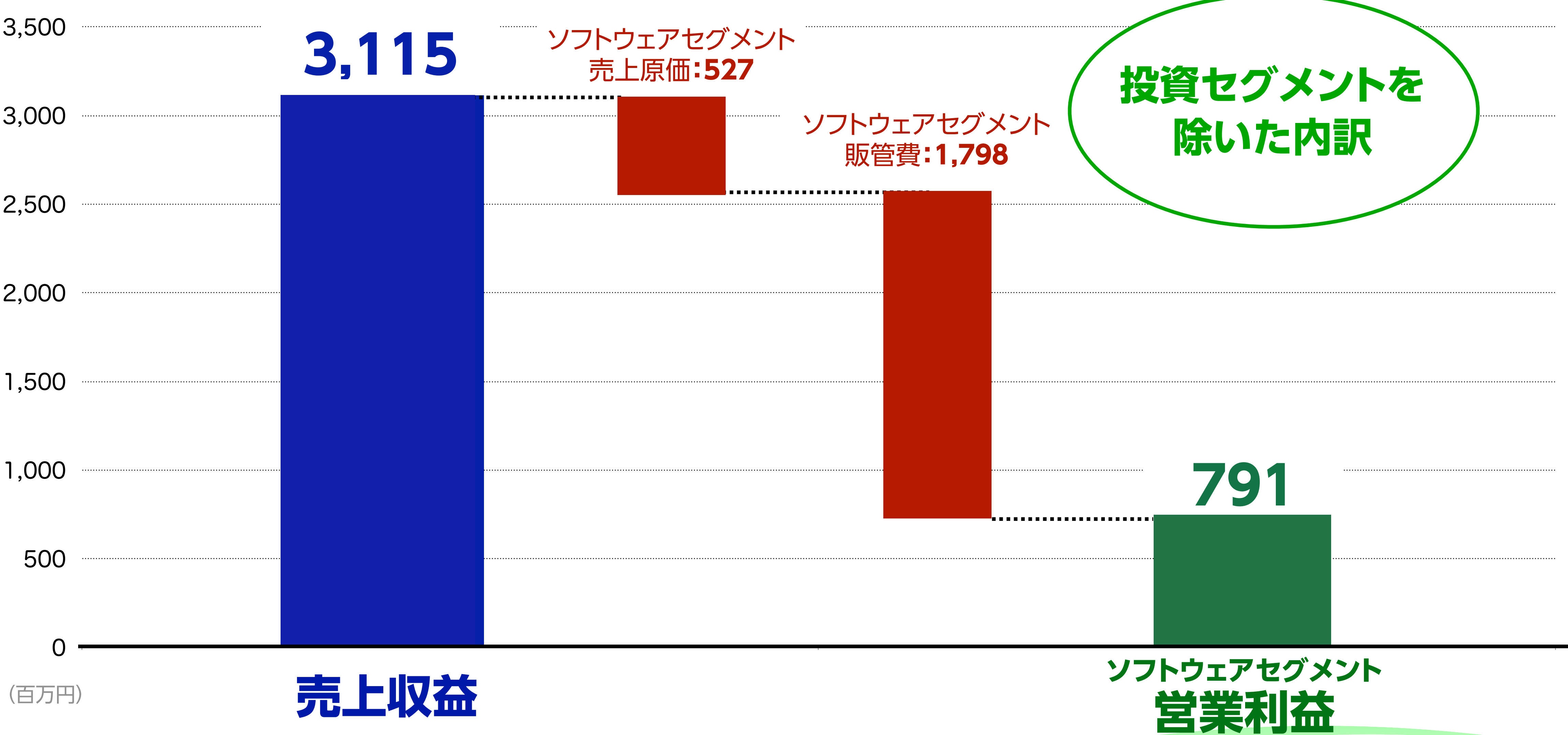
- ✓ 米国大手IT企業における受注が大幅拡大
- ✓ 特定顧客への依存度が拡大

販売管理費：推移と内訳

✓ 「広宣販促費」「採用費」等への先行投資が終了し、トータルで減少。

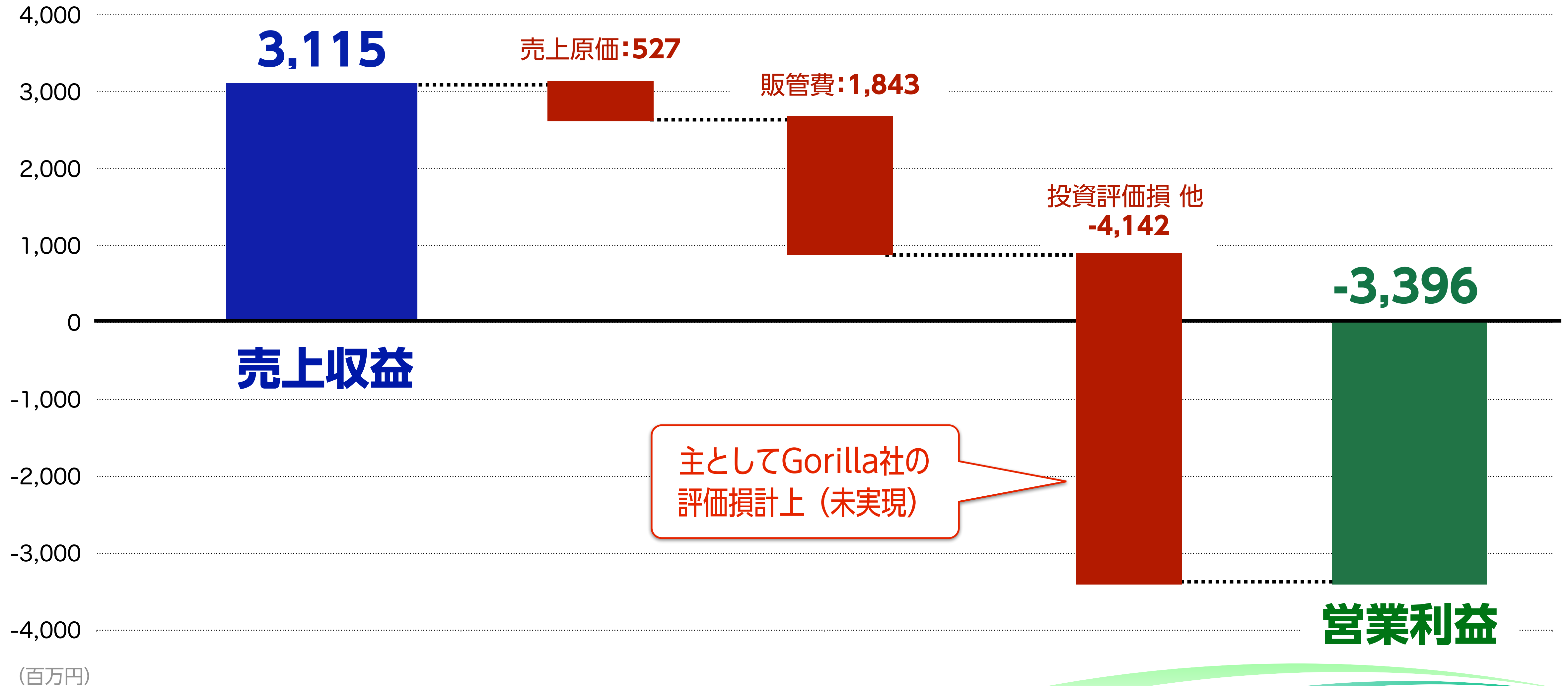


ソフトウェアセグメント:売上収益から営業利益の内訳



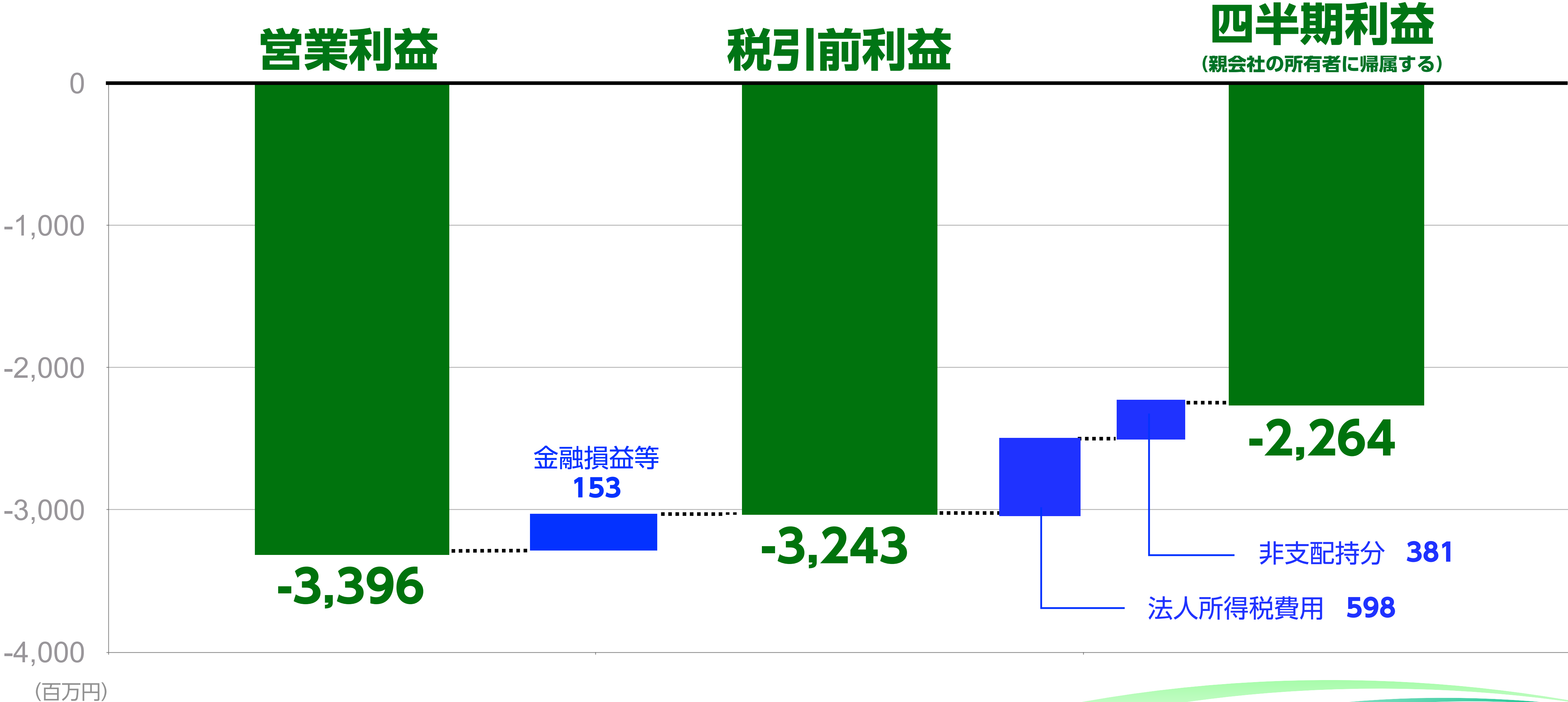
売上収益から営業利益までの内訳

✓ 子会社AVF (米国) での投資評価損 (未実現) の発生により営業利益が大幅に減少。 ※IFRSのFVTPLに基づく



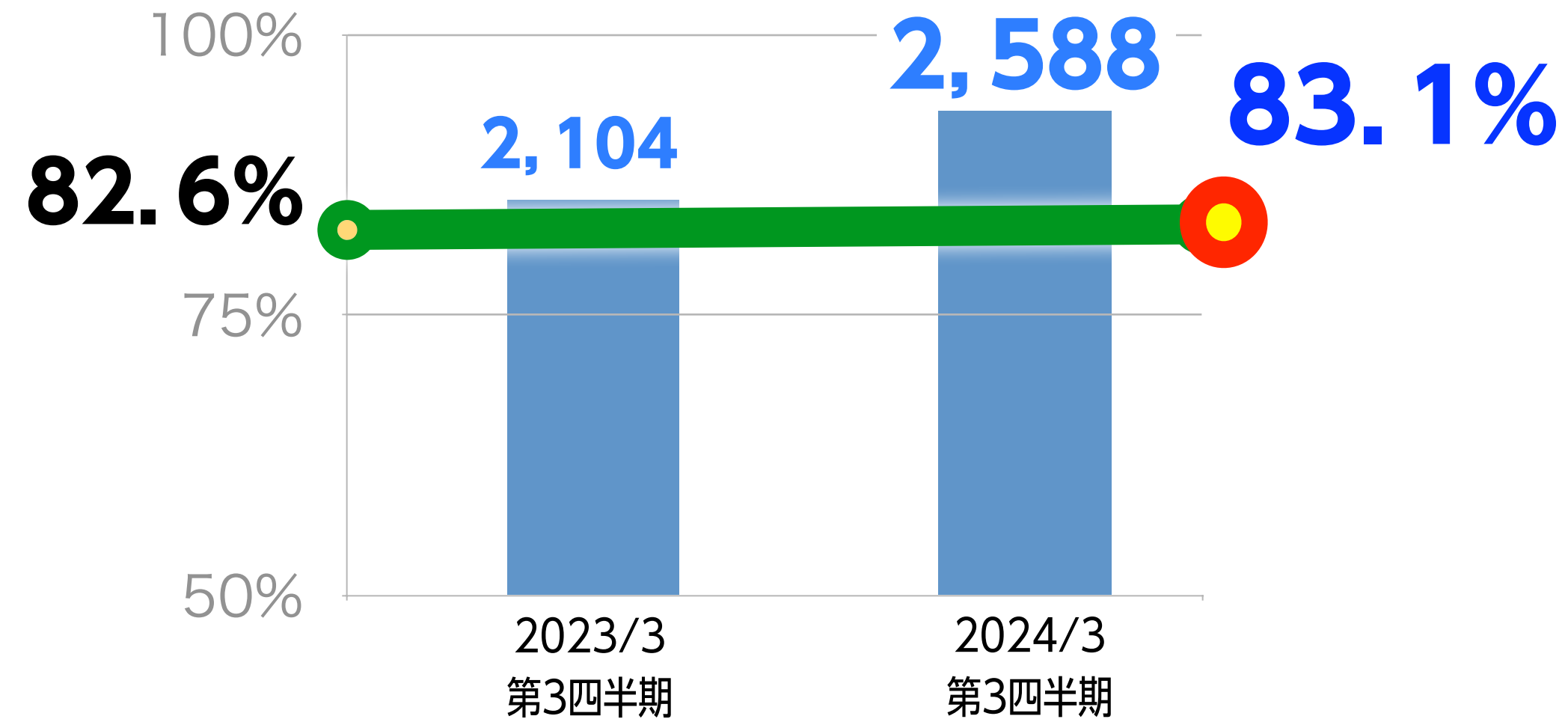
営業利益/税引前利益/四半期利益 (親会社の所有者に帰属する)

✓ 金融損益には為替差益を含む

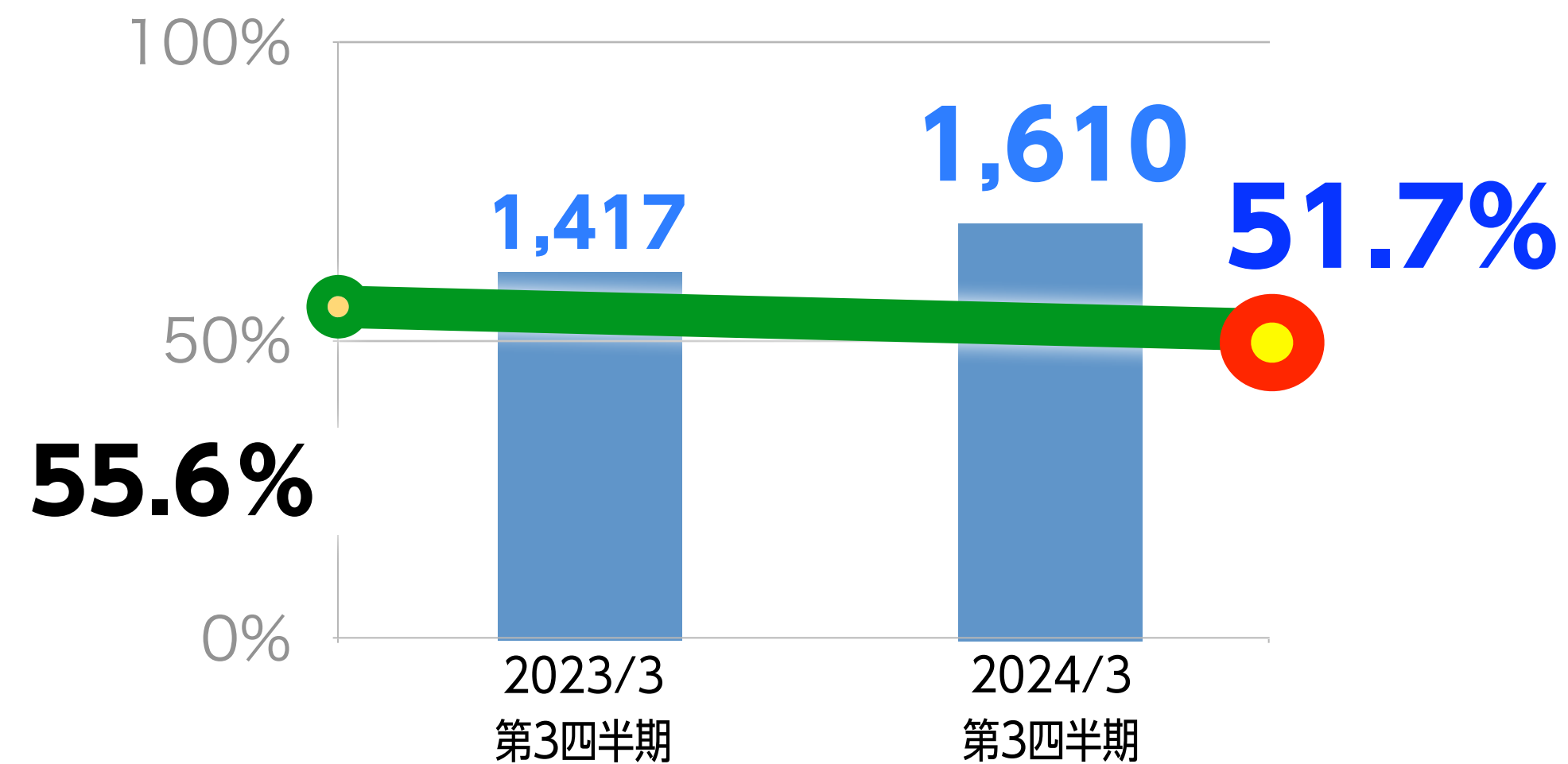


経営指標の推移 (前年同期比) ※絶対値の単位は百万円

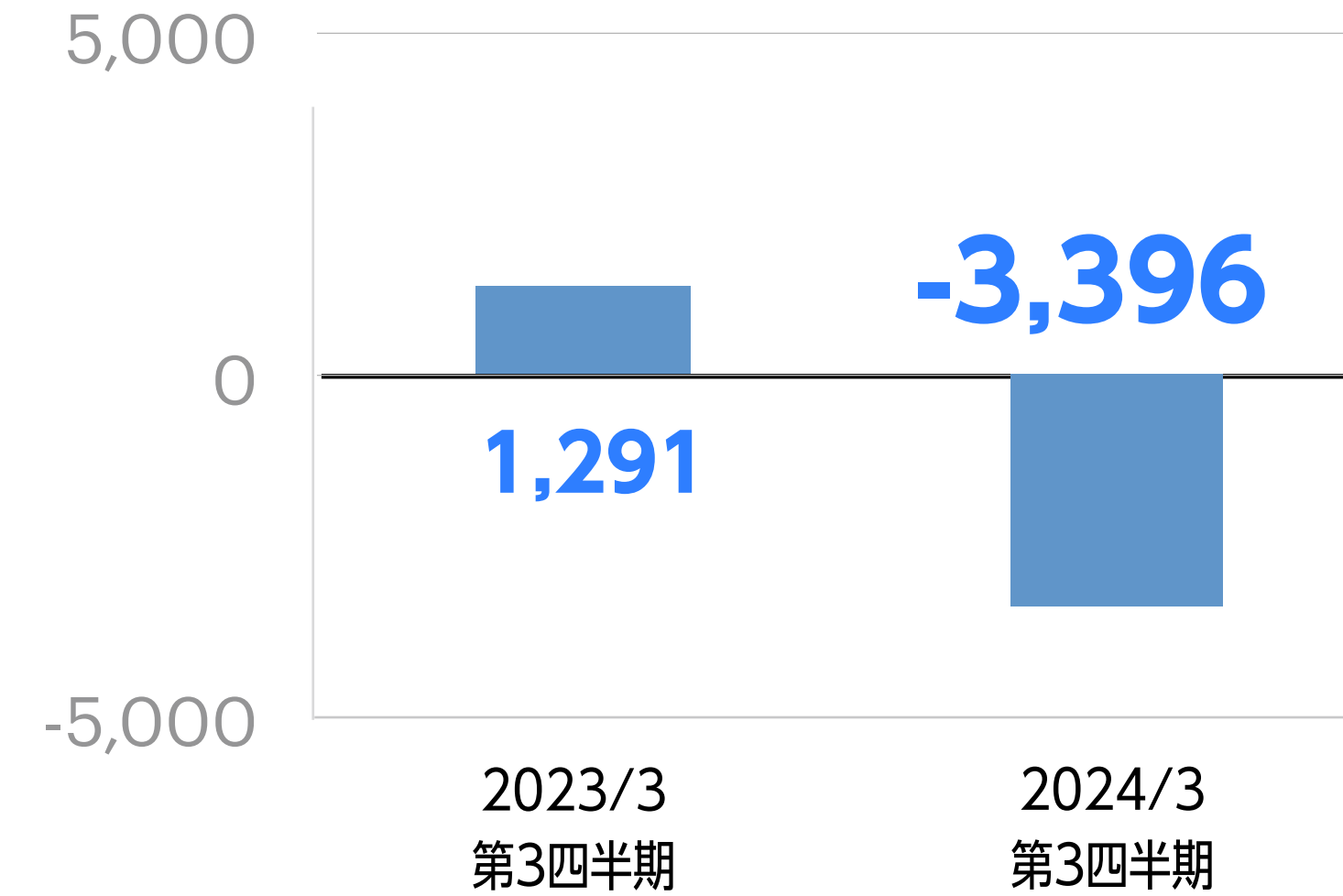
売上総利益/率



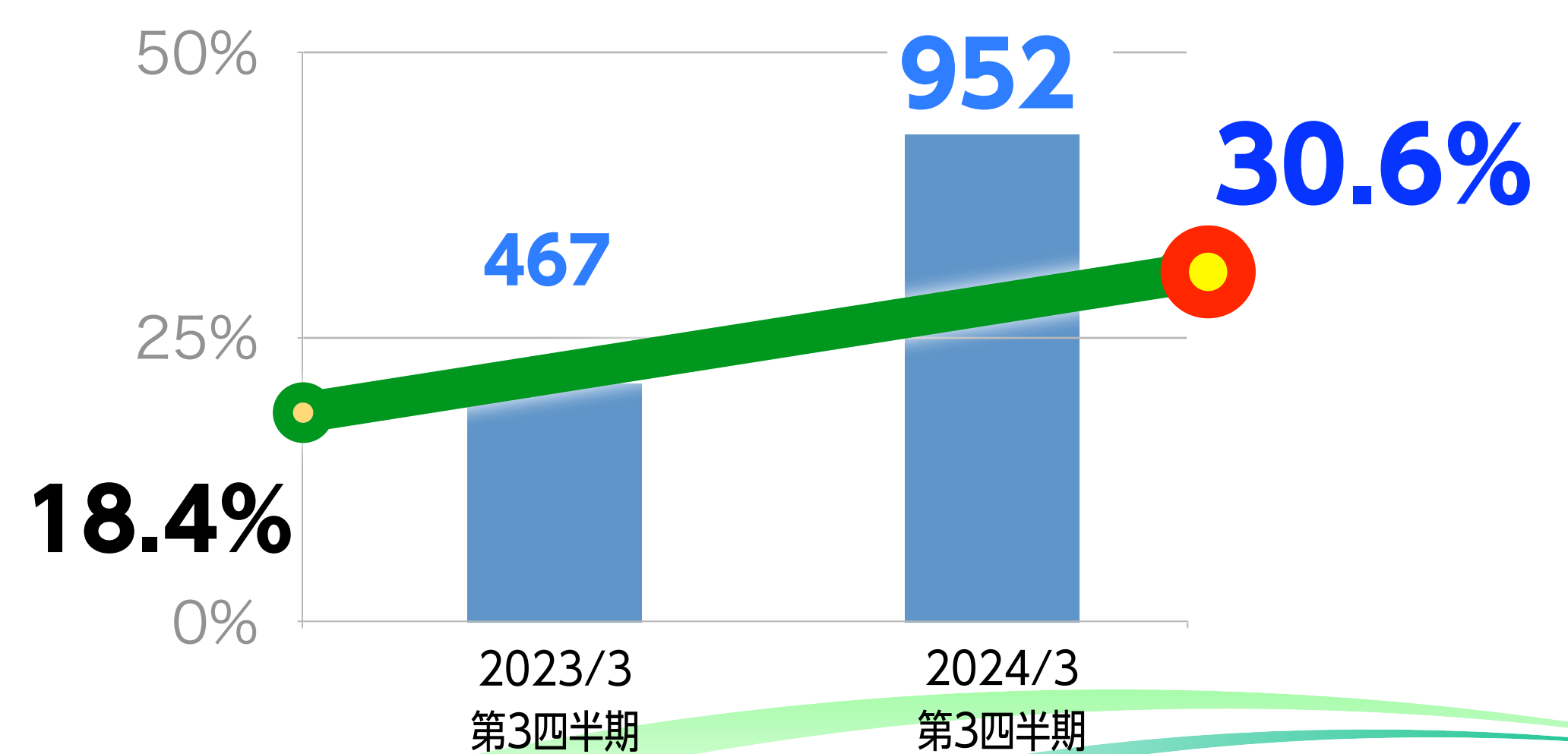
継続型売上/率



営業利益 ※いずれの期も投資損益を含む



海外売上/率



財政状態計算書

(単位：百万円)

	2023年 3月31日	2023年 12月31日	増減
資産の部	現預金等	1,744	1,429 ▲ 315
	営業債権	183	590 407
	その他流動資産	506	528 23
	有形固定資産	813	867 54
	のれん	0	0 0
	無形資産	151	223 72
	投資等その他	7,222	3,766 ▲ 3,456
	資産合計	10,618	7,403 ▲ 3,215
負債の部	借入金	243	243 0
	営業債務	282	128 ▲ 154
	未払法人所得税等	75	189 114
	その他流動負債	825	1,070 245
	長期借入金	357	250 ▲ 107
	その他非流動負債	1,207	324 ▲ 884
負債合計	2,989	2,203 ▲ 786	
資本の部	株主資本	6,441	4,065 ▲ 2,377
	その他資本の構成要素	693	991 299
	非支配持分	495	144 ▲ 351
	資本合計	7,629	5,200 ▲ 2,429

✓ 健全な財務状況とキャッシュ・フローを継続

現預金等	自己資本比率
1,429 百万円	70%

キャッシュフロー計算書

(単位：百万円)	2024年3月期 第3四半期	前年同期比較
営業活動による キャッシュ・フロー	231	▲147
投資活動による キャッシュ・フロー	▲324	▲395
財務活動による キャッシュ・フロー	▲256	▲36
現金及び現金同等物の 期末残高	1,429	▲632

成長戦略

株式市場での評価に対する課題認識及び対策

【課題】

売上・利益の
積み増し

将来不安要素
の内包

【対策】

1. 業績の向上

- ✓ 既存製品の継続成長に加え、高成長の新技术領域への取組強化・サブスク製品への経営資源集中

2. 不安要素の低減

- ✓ デザイン事業の構造転換
- ✓ 企業投資事業の方針変更

サブスク製品への資源集中

Warpサブスク：約4割増収 (前年同期比)

Platio：約6割増収 (前年同期比)

【背景】

- ✓ 法改正や社会の変化に対応
- ✓ 残業規制、人手不足によるDX推進
- ✓ 企業でのDXを推進・実行するIT人材不足

デザイン事業

▶ 依存度増加→要対策

投資事業

▶ AVF-I全額出資終了

▶ AVF-II組成取りやめ (2023年3月発表)

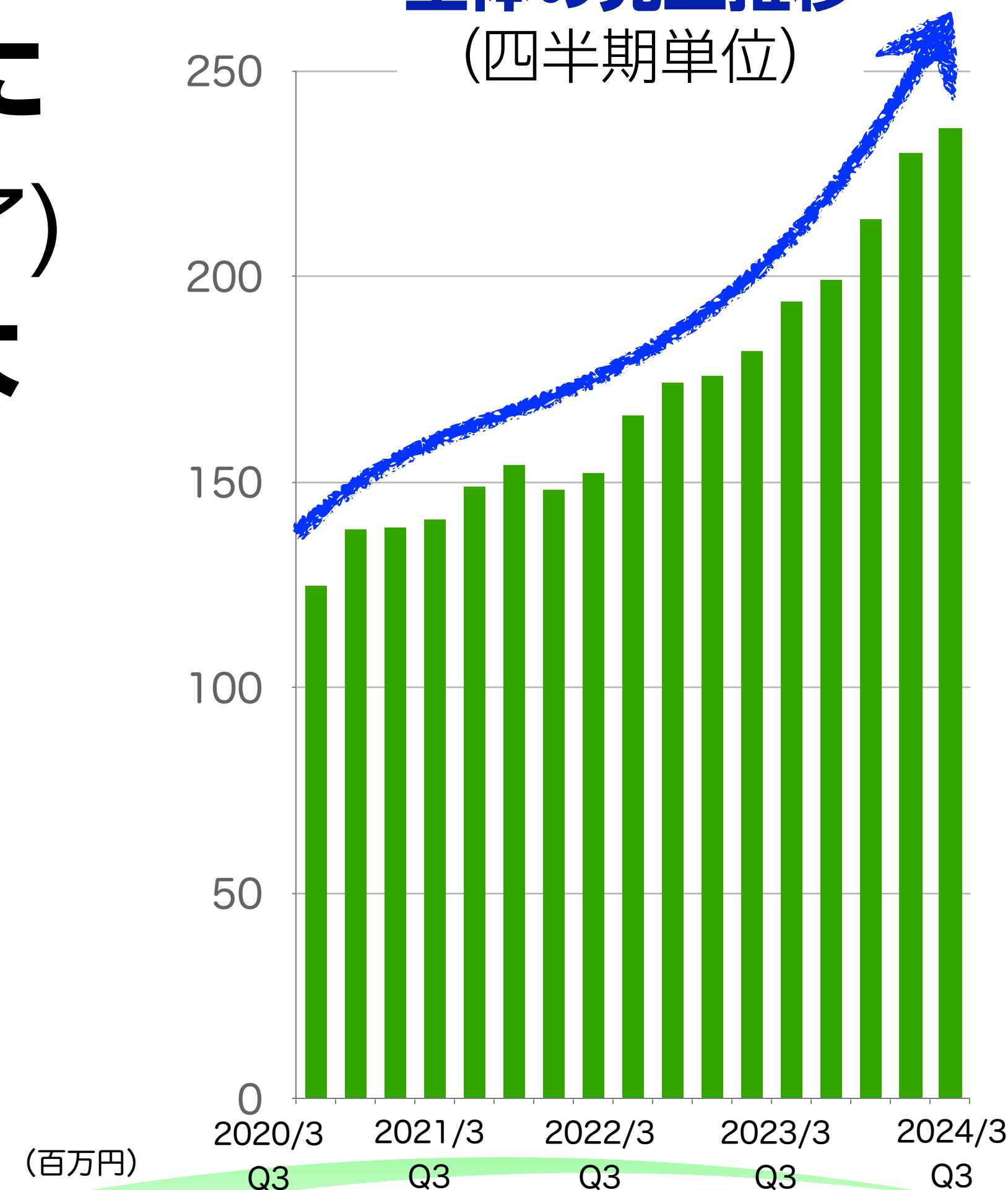
- ◆ **2024年問題** (労働時間に関する新規制)
建設・運輸・医療現場で業務効率化が急務に
- ◆ **SAP2027年問題** (ERPシステムの保守終了)
新システムなどとのデータ連携需要が拡大



業務のデジタル化・DXに向けたニーズ拡大

- ✓ 現場データの収集・分析
- ✓ 既存システムの連携によるデータ活用
- ✓ ノーコード製品 (サブスク) への注目度UP

サブスク製品
全体の売上推移
(四半期単位)



◆ 2023年12月

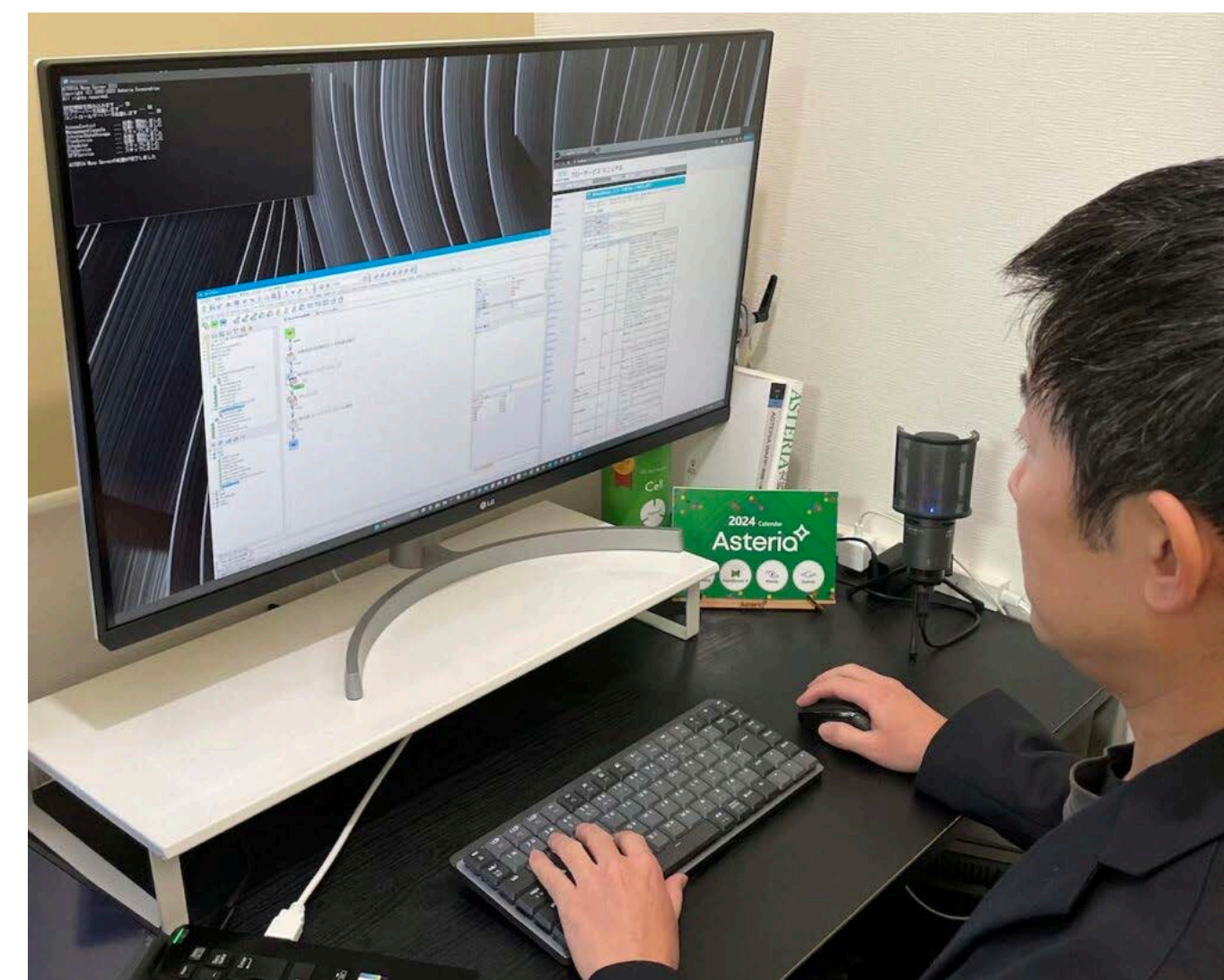
✓ 最新バージョンを提供

- ▶ 開発生産性を高める機能の追加／拡張
- ▶ 処理性能向上、メモリ使用量削減 など

◆ 2024年2月

✓ サポートを3つのプランにリニューアル(顧客単価UP)

- ▶ 導入社数の拡大で多様化する連携ニーズに対応
- ▶ 開発現場でのコンサルサービスなど、サポートラインアップも拡充
- ▶ サポート体制の強化&充実でシステムの安定稼働を長期的に支援

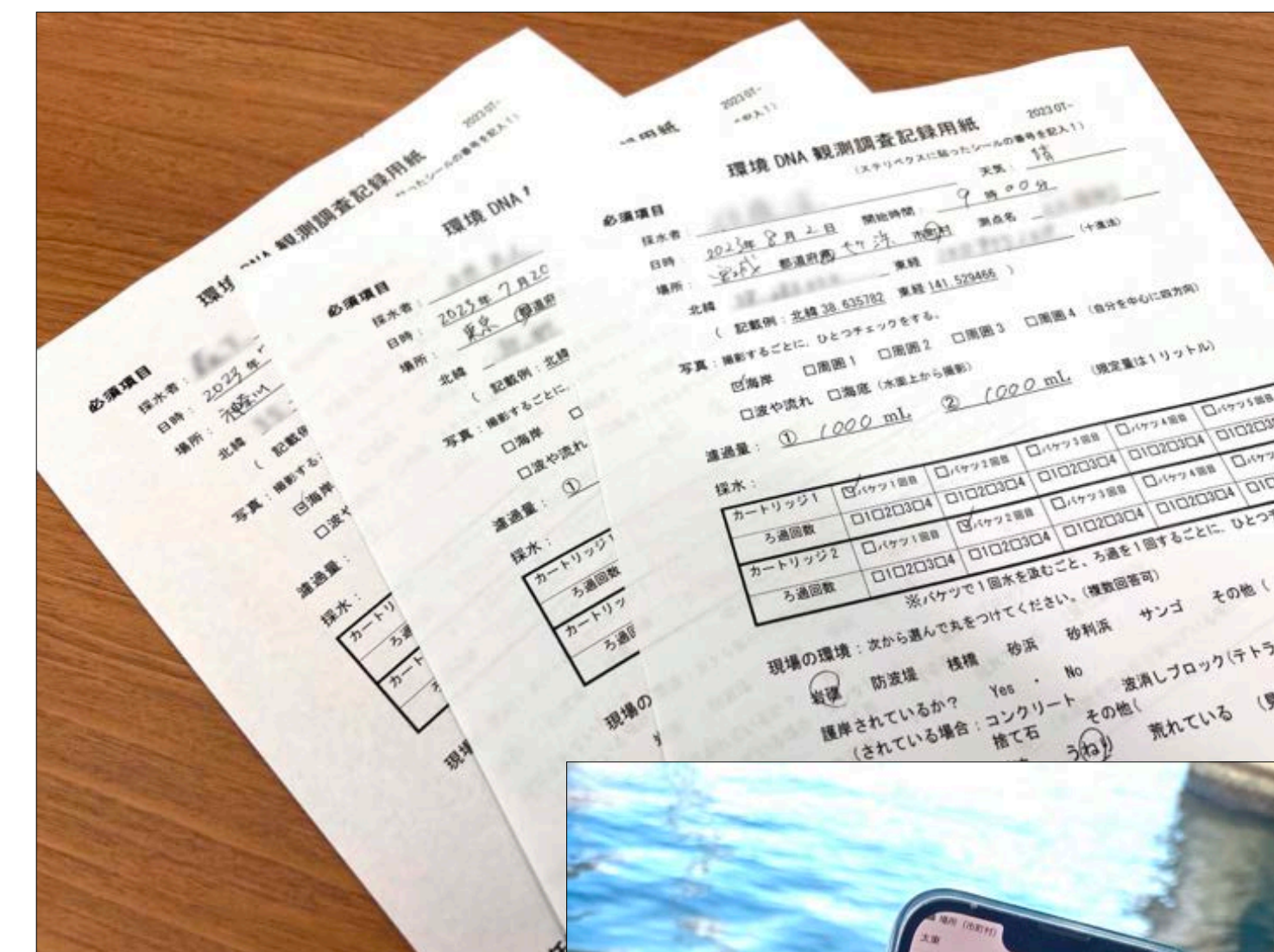


◆ 2023年12月

✓ Androidタブレットに対応

物流・建設業界の
2024年問題対応

- ▶ 防水・防塵・耐衝撃性タブレット対応
- ▶ 屋外や工場などの現場業務の利活用を加速



◆ 2024年2月

✓ 東北大学大学院生命科学研究科 近藤研究室

- ▶ 環境DNAフィールド調査でPlatioを活用
- ▶ 手書き記録(入力)をスマホ化しDX
- ▶ データ登録工数を約60%削減

記録用紙を
Platioに完全移行



◆ 2023年10月

✓ ほっちのロッヂ: イベントの資料共有に導入

- ▶ イベント参加者への資料配布をデジタル化
- ▶ アンケート回収や閲覧情報の統計情報も活用
- ▶ コミュニティー型のイベント運営に貢献



◆ 2023年12月

✓ 京浜急行電鉄: 800人の乗務員に導入

- ▶ 年5回改訂していた規定集やマニュアルなど1,000ページ以上の規程集をデジタル化
- ▶ ペーパーレス化によりOA用紙購入枚数を大幅削減
- ▶ 乗り入れ運転している他社車両の動画マニュアルも格納

KEIKYU
京 急 電 鉄

◆ 2023年12月

✓ SORACOM専用アクションを搭載

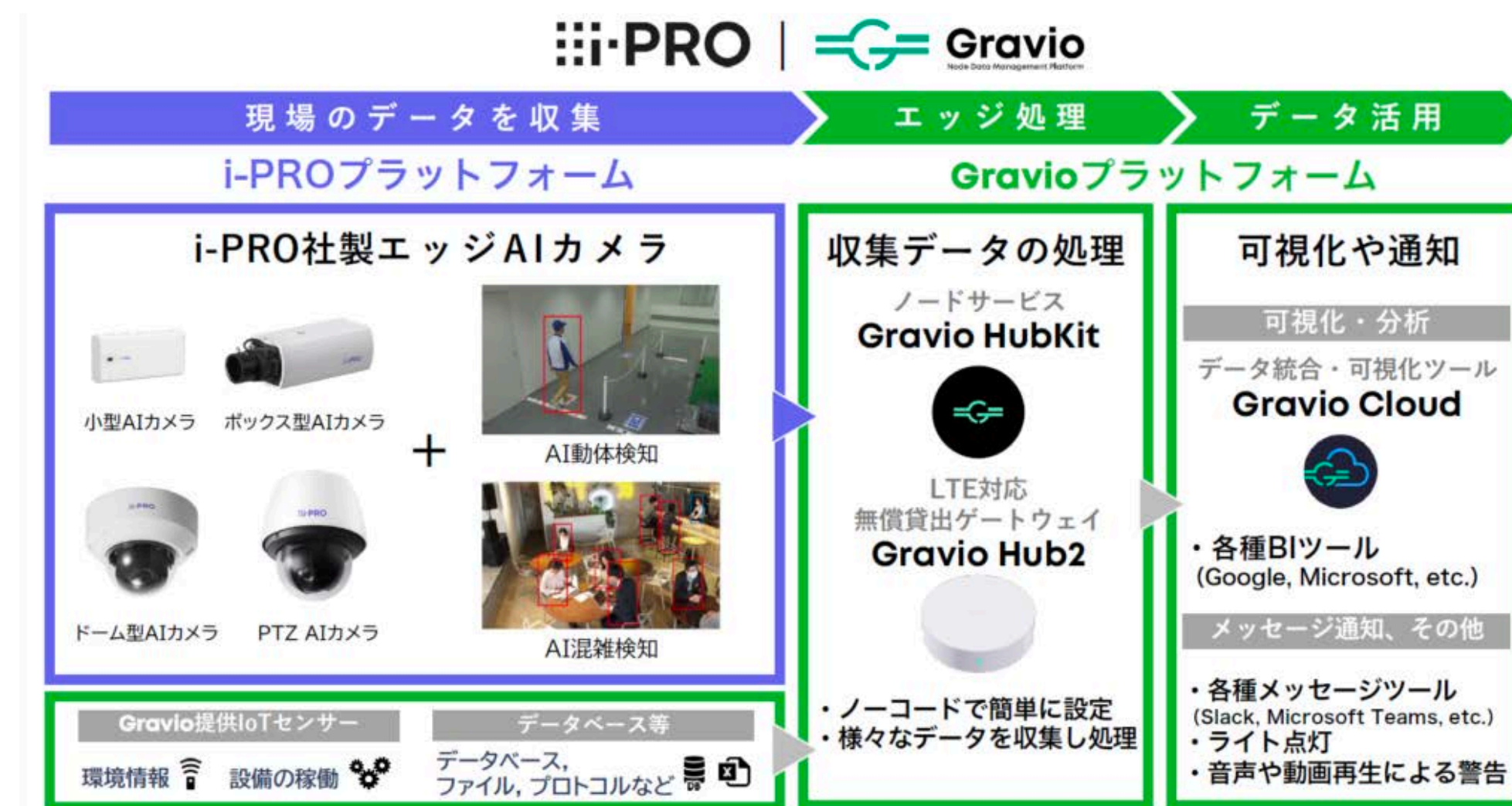
- ▶ データ収集～可視化をワンストップで実現
- ▶ 業務の自動化 & 遠隔化に貢献



◆ 2024年1月

✓ i-PROのAIカメラと連携機能を実装

- ▶ AIカメラの推論データをノーコードで収集・活用・可視化
- ▶ 飲食店や小売店の混雑状況可視化も



アステリア (東証プライム:3853)

- ✓ **第3四半期では初の売上収益30億円を突破**
- ✓ **サブスク製品好調** (Warpサブスク:38%増収、Platio:60%増収)
- ✓ **デザイン事業は113%増の大幅増収**
- ✓ **上場した投資先株価下落で投資セグメント大幅赤字**
(但しキャッシュに影響なし)



2024年3月期 第3四半期決算説明会

お問い合わせ:03-5718-1655



LINEによるIRニュース

本説明会及び説明資料に含まれる将来の見通しに関する部分は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、さまざまな要因の変化等により、これらの見通しと異なる場合がありますことをご承知おきください。

(証券コード：3853)

